

## 1. アンケート調査の概要

### (1) 調査の目的

本アンケート調査は、本町の中心部、山間部、岩代地区において平成 17 年 10 月から 1 年間の期間限定で試行運行を行ったコミュニティバス・デマンドタクシーについて、より実質的な住民の意見やニーズを把握し、試行運行終了後の本格運行に向けての基礎資料とすることを目的とする。

### (2) 調査対象

みなべ町の全世帯に対して 1 世帯に 1 部のアンケートを実施した。

### (3) 調査方法

アンケートは、平成 18 年 8 月に各地区の区長に配布をお願いし、締め切りを平成 18 年 8 月 18 日として、同じく各地区の区長に回収して頂き、最終的に町が各区長から回収した。

アンケートの回収状況は、配布数：4,526、有効回収数：2,912（全回収数 2,957 のうち無回答 45）であり、有効回収率は、64.3%であった。

## 2. 調査結果の要旨

### コミュニティバス・デマンドタクシーと路線バス利用者の傾向はほぼ共通

- ・どちらも女性の利用者が圧倒的に多く、60歳以上の高齢者の利用率が高い
- ・清川地区や高城地区が利用率が高く、岩代地区が最も利用率が低い
- ・利用者の中の免許証所有率は約1/4と低い
- ・利用目的は通院が最も多く、利用回数は約半分の人が月1,2回と答えている

### 路線バスでは運行条件が改善されても利用する人は少ない

路線バスでは、運行本数や停留所の位置等、たとえ運行条件が改善されたとしても、65歳以上の一人暮らし世帯で若干利用者が増えるものの、利用すると回答した人は少ない。

### コミュニティバス・デマンドタクシー利用者の満足度は高い

運行内容について尋ねると、どちらかという満足と答えた項目は路線バスに比べて、コミュニティバス・デマンドタクシーでは満足度の割合が高く、また、どちらかという不満の割合は低くなっている。特に岩代地区では不満と回答した人はなく、満足度が高い。

また、利用しない人のうち7割がバスの運行内容自体に理由があるわけではなく、自家用車利用で今の所必要がないためと答えている。

### コミュニティバス・デマンドタクシー試行運行の情報はほぼ浸透している

全員知っていると一部の家族が知っているを合わせると、9割近くの住民が広報の記事や試行運行のチラシから、試行運行について情報を得ている。ただし、一人暮らし世帯や、利用率が低い若年の夫婦世帯では知らない人の割合が若干多くなっている。

### コミュニティバスへの税金の投入に対する不満の声は少ない

「一定の利用者負担を求めた上で税金を使うことはやむを得ないと思う」という意見も含め、「税金を使うことは当然だと思う」という肯定的な意見は7割を越えており、「不公平になるので賛成できない」といった否定的な意見は少なかった。

### 利用料金は特にデマンドタクシーでの検討が重要

利用料金200円についての考えを尋ねたところ、コミュニティバス(中心部)では「適切」が最も高く、デマンドタクシーは山間地域でも岩代地域でも「安い」という意見が最も多くなっている。半数以上の方が運行継続には料金の値上げもやむを得ないとしており、特にデマンドタクシーについての料金の検討が重要視されている。

### 3. 調査結果

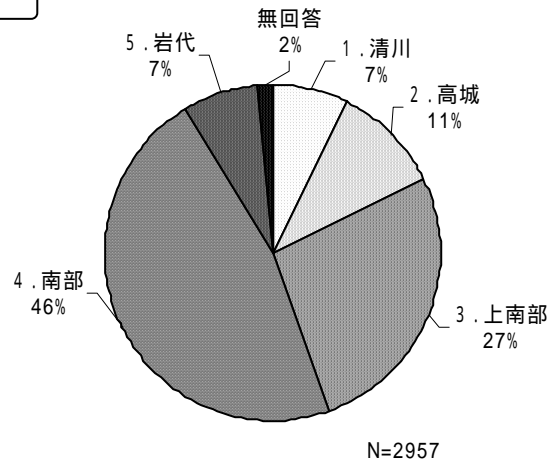
#### (1) 回答者属性

##### 問1. あなたの世帯のお住まい (全員回答)

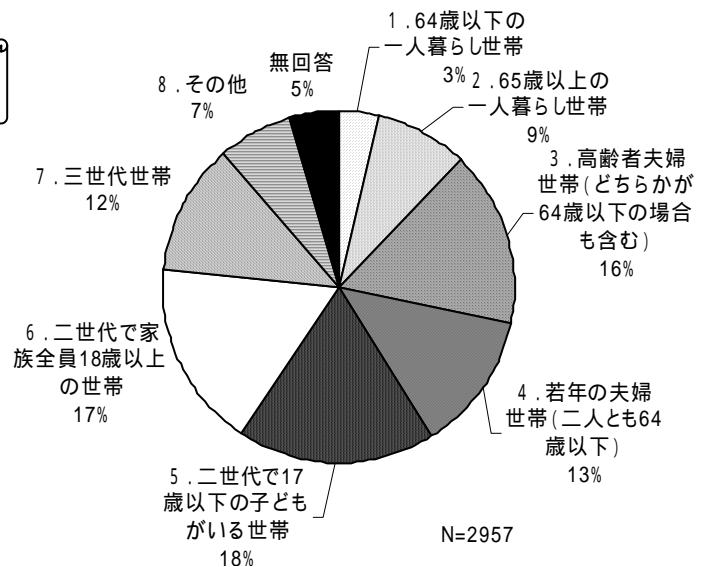
世帯数と世帯別回答数から回答率を見ると、清川地区が89.1%と最も高く、次いで高城地区、上南部と岩代地区が70%強で、南部地区が最も低く、55.5%となっている。

世帯別回答率

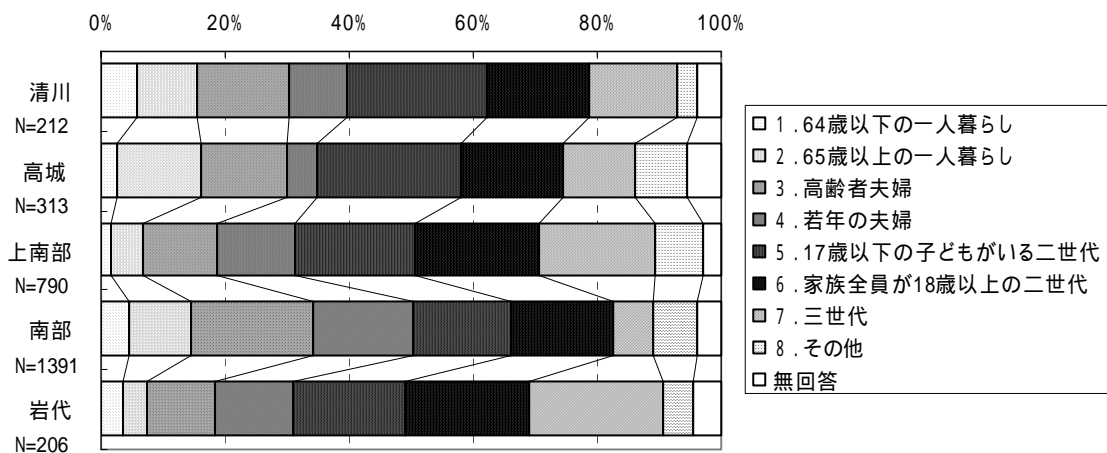
	世帯数	回答数	回答率
清川	238 世帯	212	89.1%
高城	391 世帯	313	80.1%
上南部	1097 世帯	790	72.0%
南部	2507 世帯	1391	55.5%
岩代	293 世帯	206	70.3%
		45(無回答)	
合計	4526 世帯	2957	



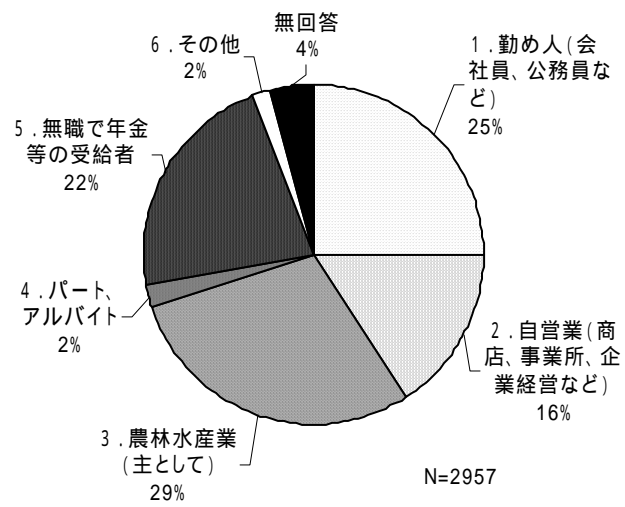
##### 問2. あなたの家族構成 (全員回答)



地区別家族構成



問 3 . あなたの世帯の主な収入を支えている方の職業はなんですか。(全員回答)

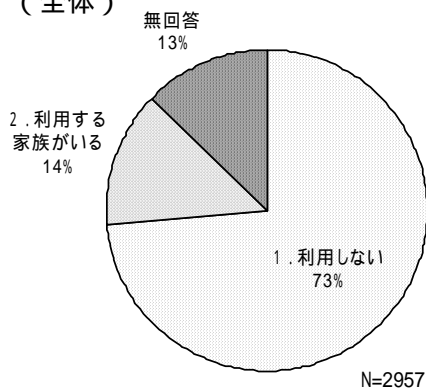


## (2) 路線バスの利用状況

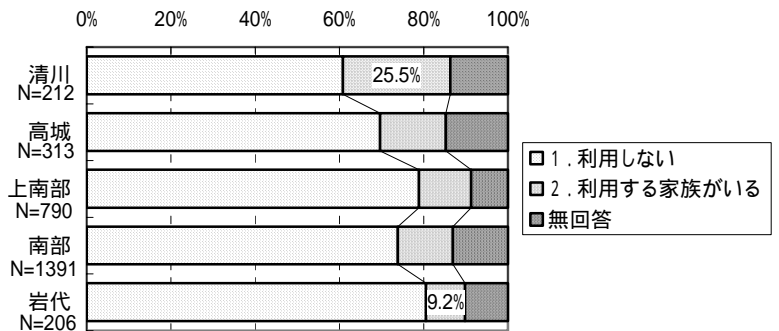
### 問4. あなた及びあなたの家族の路線バス（明光バス、龍神バス）の利用状況 (全員回答)

全体で利用する人は14%、利用しない人は73%となっている。地区別では、清川地区が25.5%と最も高く、岩代地区が9.2%と最も低い。また家族構成別では、65歳以上の一人暮らしと高齢者夫婦世帯がそれぞれ19.8%、19.0%と利用する人が多く、若年の夫婦世帯が5.5%と最も少なくなっている。

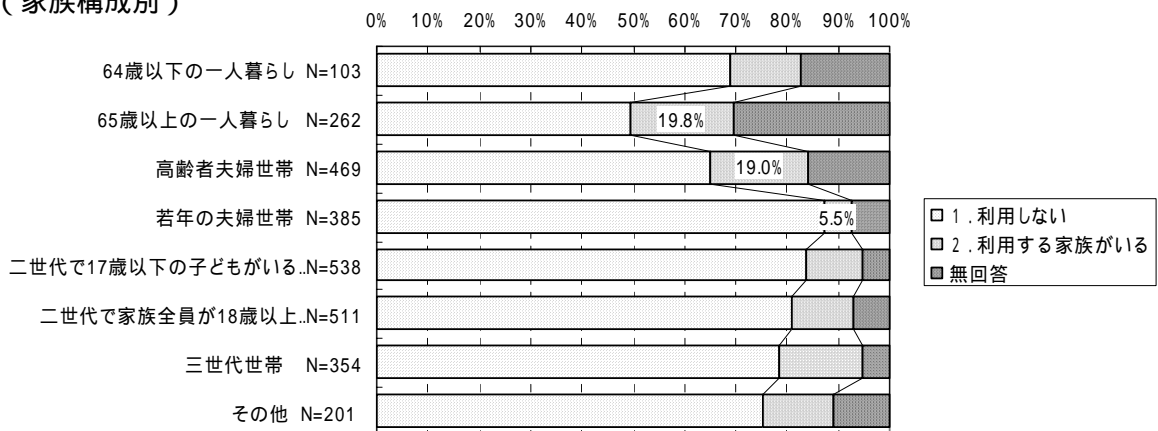
(全体)



(地区別)



(家族構成別)



問 4 - 1 . どなたがバスをご利用ですか。バスをご利用の方についてお答え下さい。

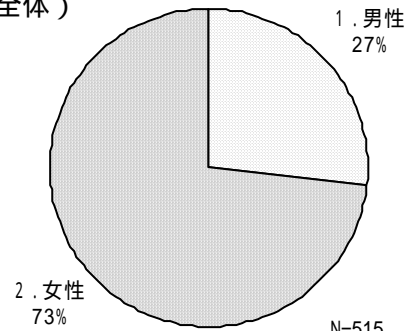
(路線バス利用世帯のみ回答)

性 別

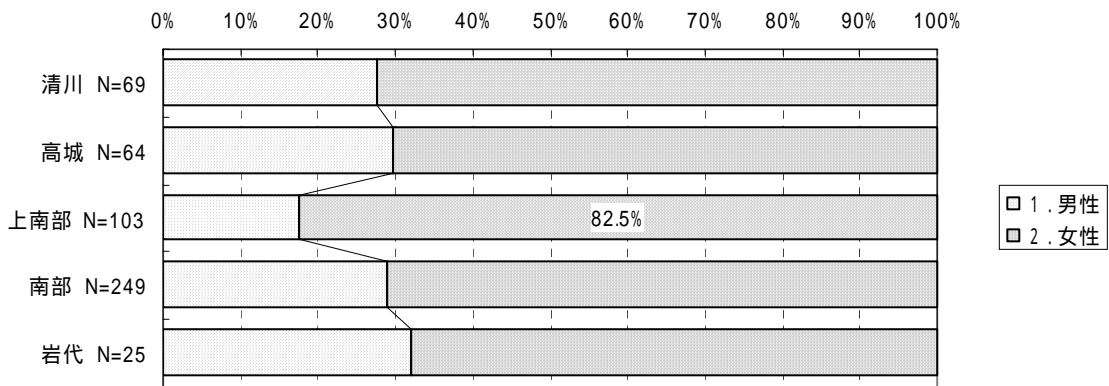
路線バスの利用者は女性が約 7 割、男性が約 3 割と  
なっており、全体的に女性の利用者が多い。

地区別でみると、上南部地区では女性の利用者が約  
80%を占めており特に高くなっている。

(全体)



(地区別)



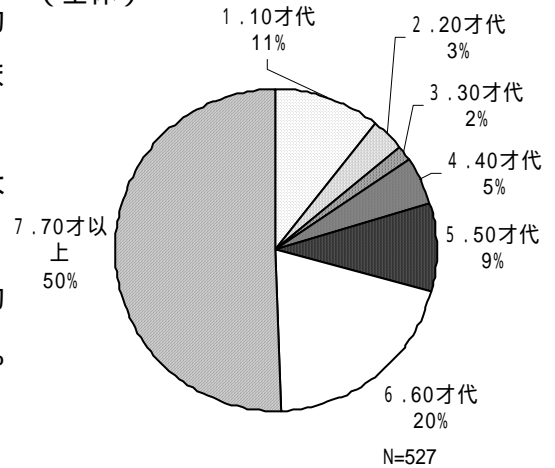
年 代

路線バスの利用者の年代をみると、利用者のうち約  
70%が 60 才代以上で、特に 70 才以上の利用者はほ  
ぼ半分となっており、高齢者の利用率が高い。

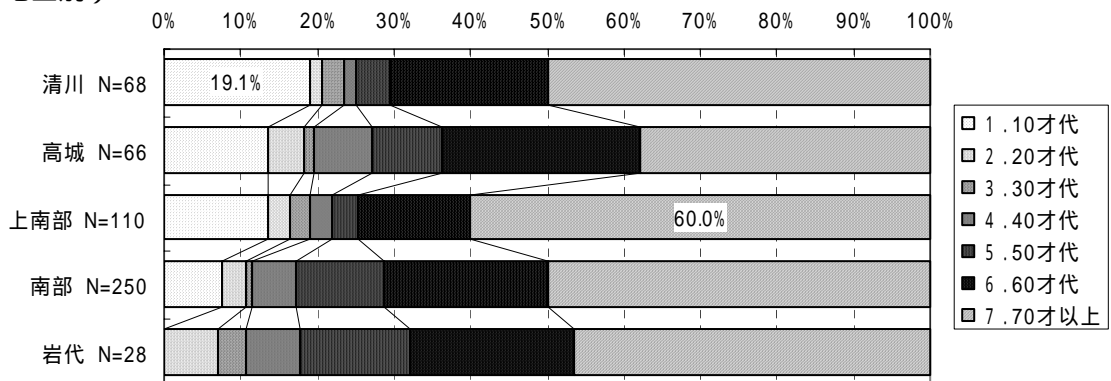
次いで 10 才代が 11%と多く、20、30 才代では  
低い利用率となっている。

地区別では、上南部地区で 70 才以上の利用が約  
60%と高く、10 才代の利用では清川地区が約 20%  
と高くなっている。

(全体)



(地区別)

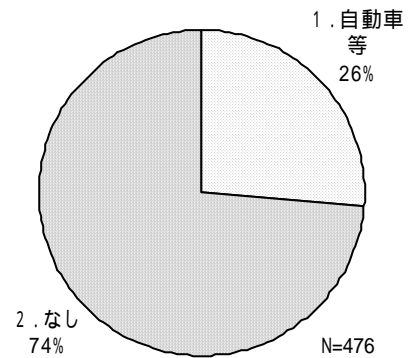


## 免許証

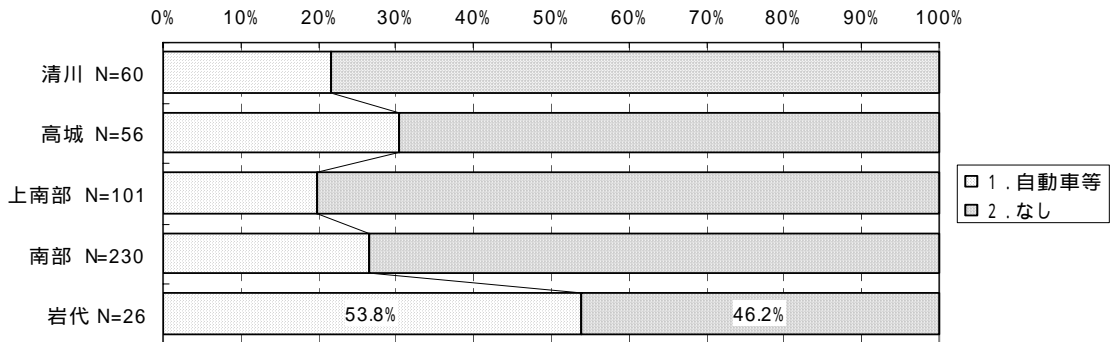
バス利用者のうち自動車等の免許証の所有率は26%であった。

一方岩代地区に限ってみると、バス利用者のうち約半分の人は自動車等の免許を所有おり、自動車等の運転ができて、バスを利用する割合が高いといえる。

(全体)



(地区別)

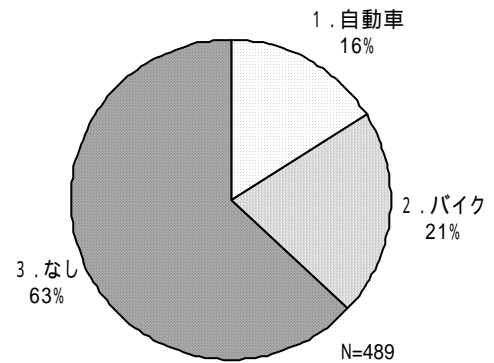


## 本人が使える自動車等

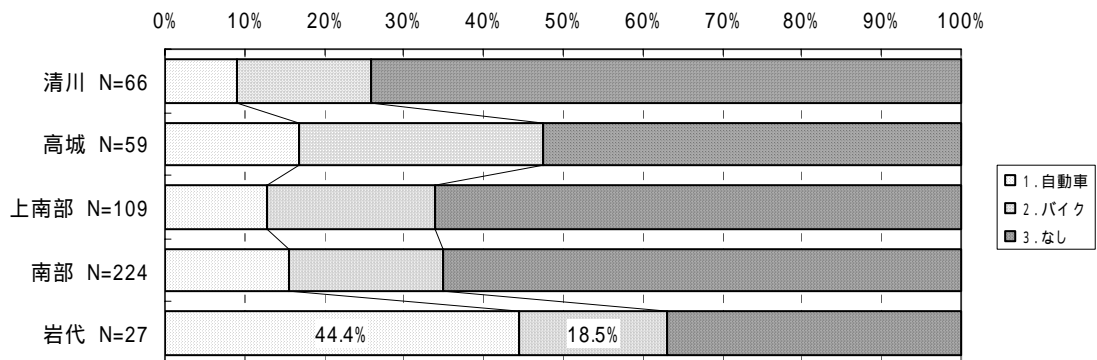
バス利用者のうち自動車が使える人は16%で、自動車よりもバイク使用者が21%と若干多くなっている。

清川・高城・上南部・南部の4地区では、回答にほとんど差が見られないが、岩代地区では自動車が使える人は40%以上、バイクも合わせると60%以上となっている。

(全体)



(地区別)

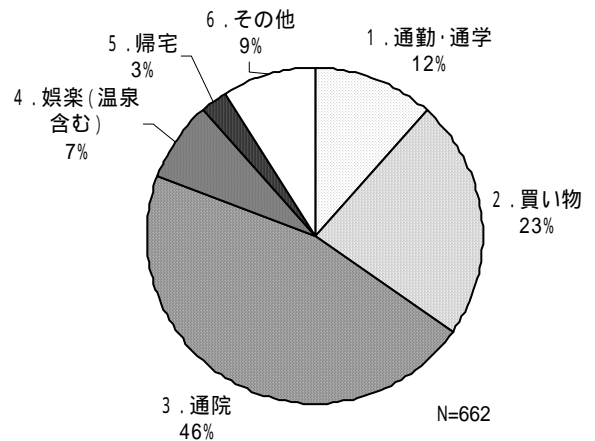


## バス利用の目的

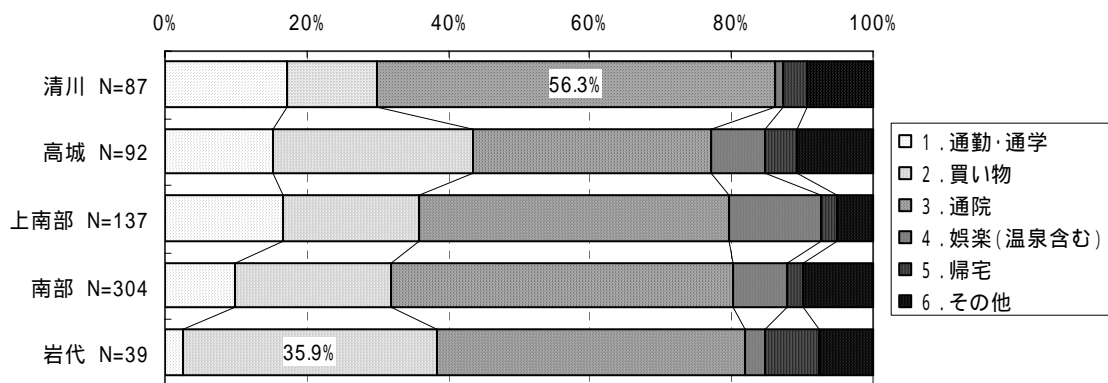
通院が46%と最も多く、次いで買い物、通勤・通学となっている。

特に清川地区では通院目的が56%と高い。  
岩代地区では、通院と同じく買い物による利用が約35%と高く、通勤・通学による利用はほとんどない。

(全体)



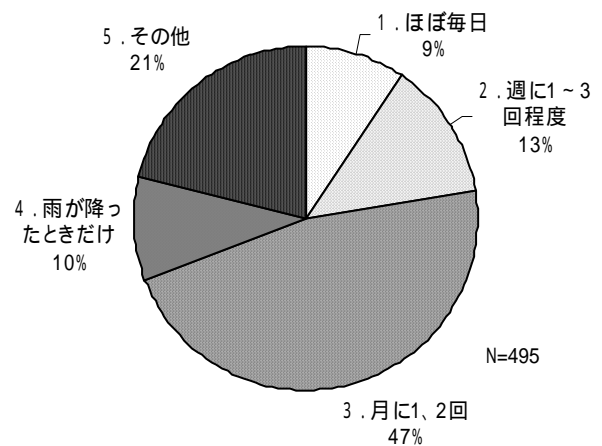
(地区別)



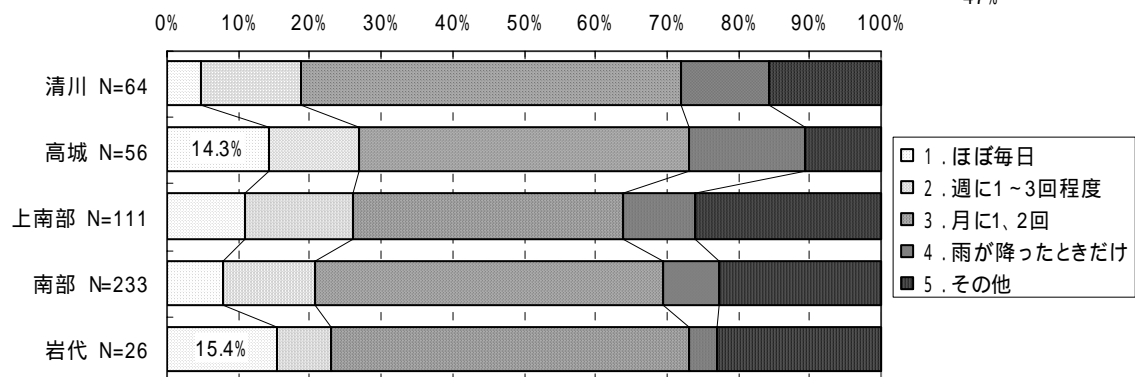
## 利用頻度

バス利用者のうち約半分が月1, 2回の利用となっている。その他の理由としては家族の送迎がない時などがあげられ、雨の日のみの利用とあわせて条件によって利用頻度が異なる人は、全体の約3割となっている。

(全体)



(地区別)



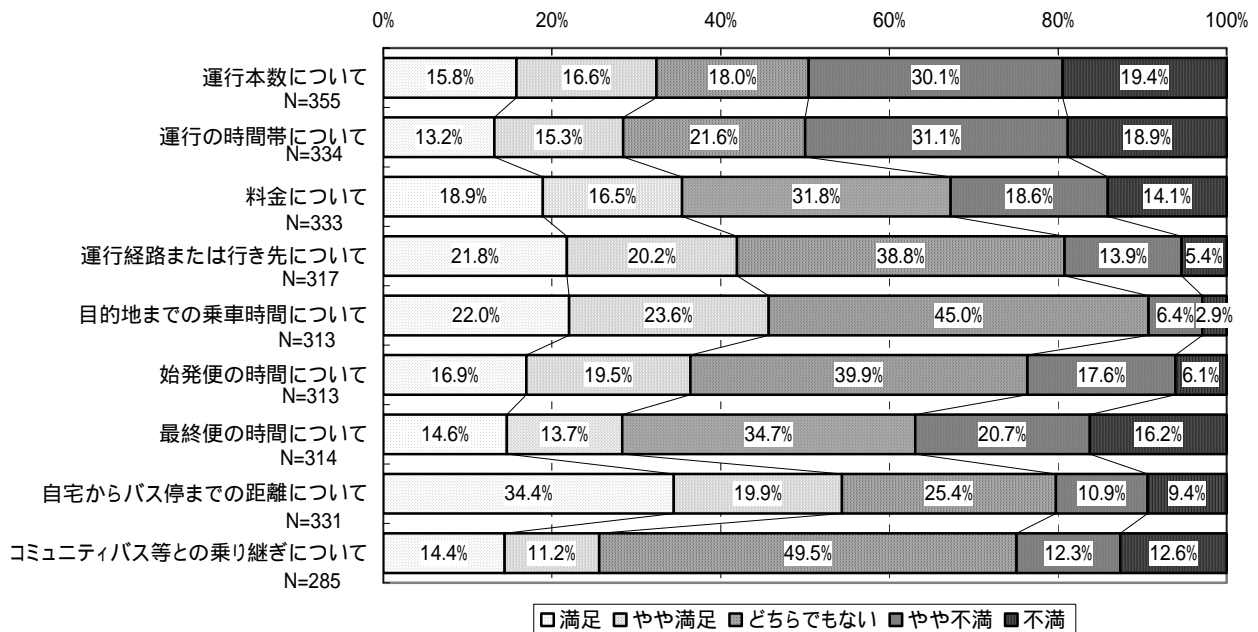
問 4 - 2 . 路線バスの運行について

(路線バス利用世帯のみ回答)

路線バスを利用している人に対してバスの運行状況を評価してもらったところ、「満足」と「やや満足」(どちらかという満足)、「不満」と「やや不満」(どちらかという不満)と答えた項目の上位は、それぞれ下表に示す通りとなった。現在バスを利用している人への設問であるため、「自宅からバス停までの距離」や「運行経路または行き先」などについては、満足度が高くなっている。しかし「運行の時間帯」や「運行本数」についての評価は低い。

	どちらかという満足		どちらかという不満
自宅からバス停までの距離について	54.4%	運行の時間帯について	50.0%
目的地までの乗車時間について	45.7%	運行本数について	49.6%
運行経路または行き先について	42.0%	最終便の時間について	36.9%

(全体)

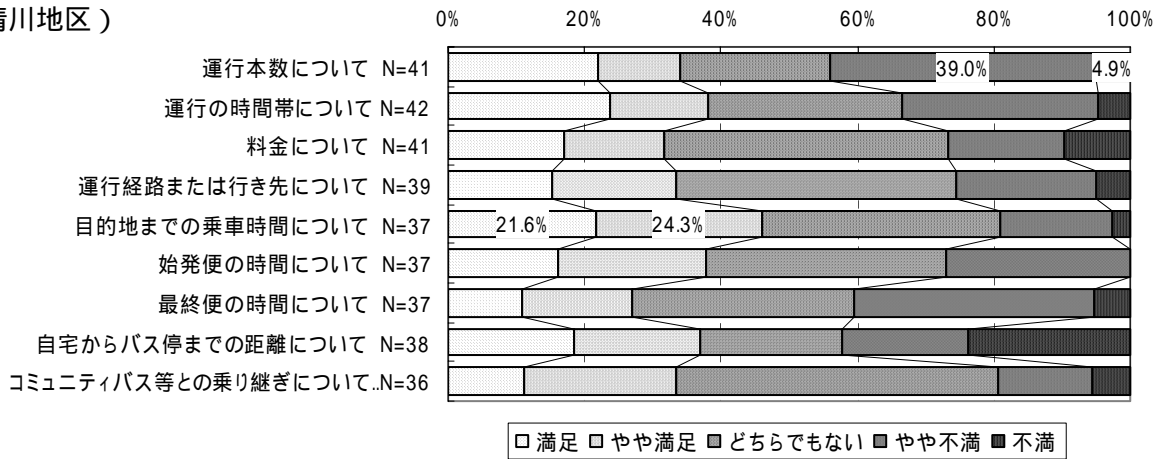


地区別で見ると、「自宅からバス停までの距離」について「どちらかという満足」と答えた割合は清川地区以外が高くなっている。

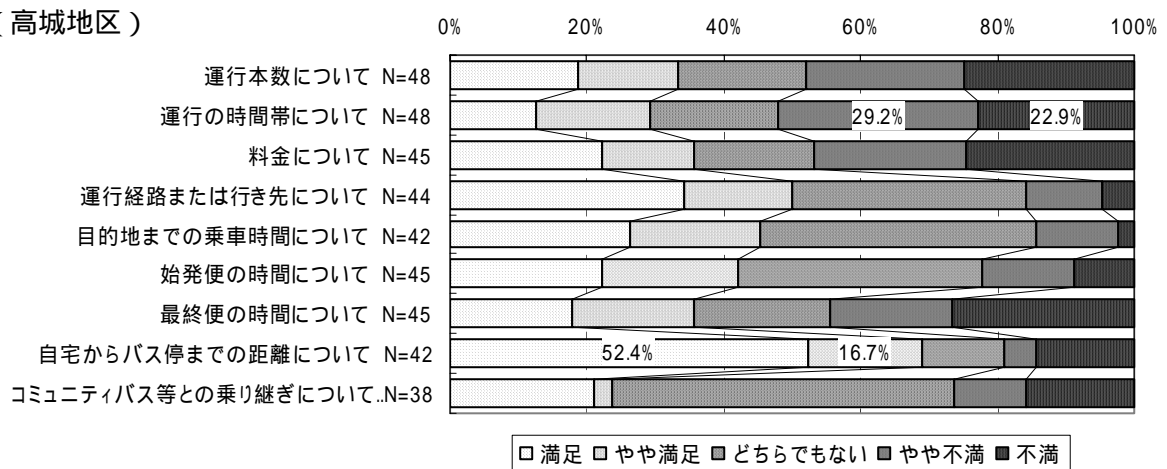
「コミュニティバス等との乗り継ぎ」に対する評価は地区間で差があり、清川地区と上南部地区で若干が高くなっている。

評価が低い項目としては、南部地区の「運行時間帯」と岩代地区の「運行本数」があげられる。

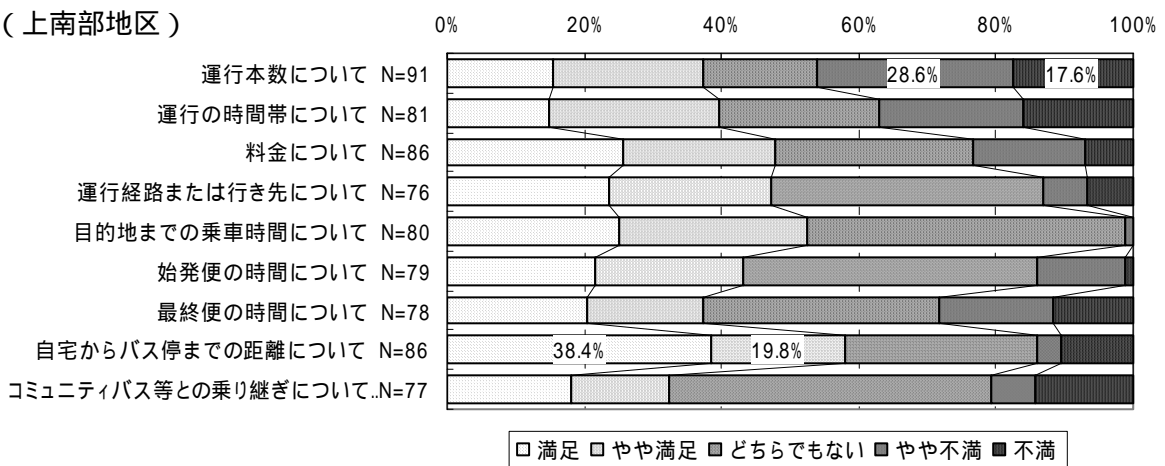
(清川地区)



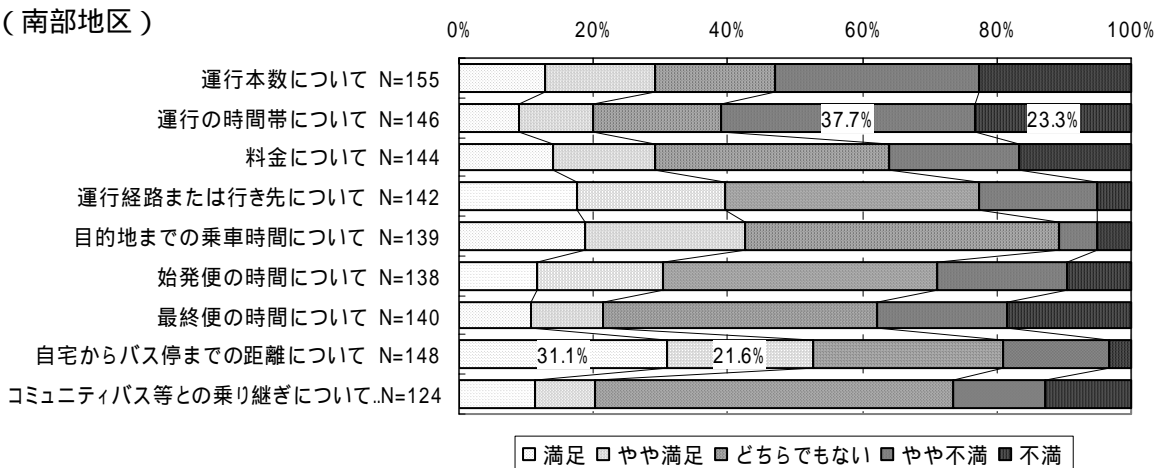
(高城地区)



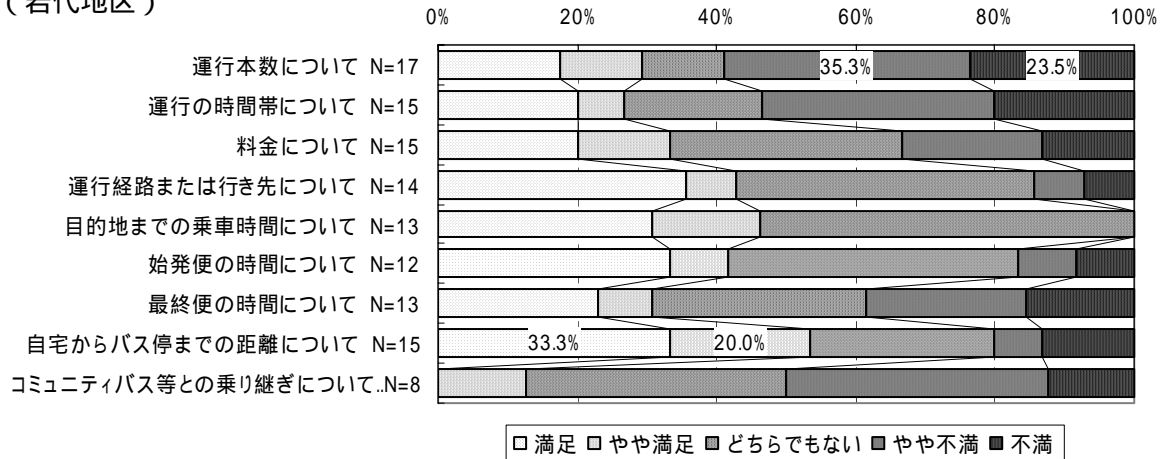
(上南部地区)



(南部地区)



(岩代地区)

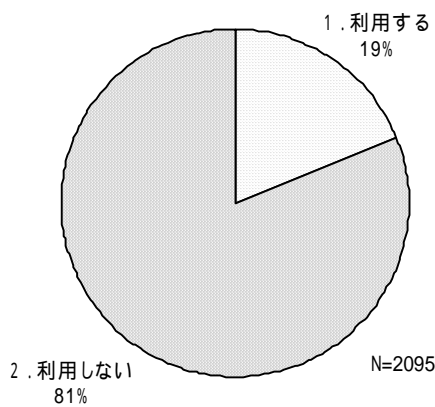


問 5 . 路線バスの運行条件が改善されたらバスを利用しますか。

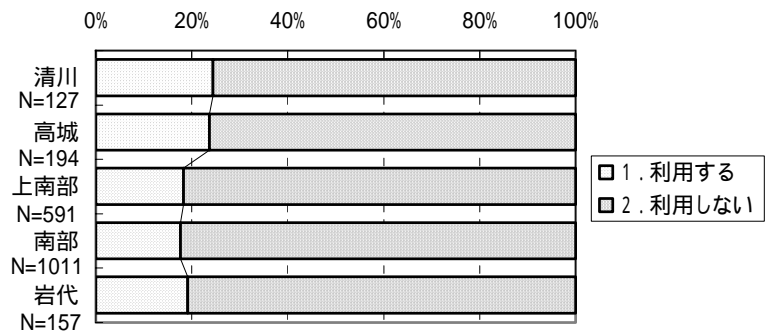
(路線バスを利用しない世帯のみ回答)

利用すると答えた人は全体で 19%あり、65 歳以上の一人暮らし世帯での回答が 26.4%と若干高くなっている。

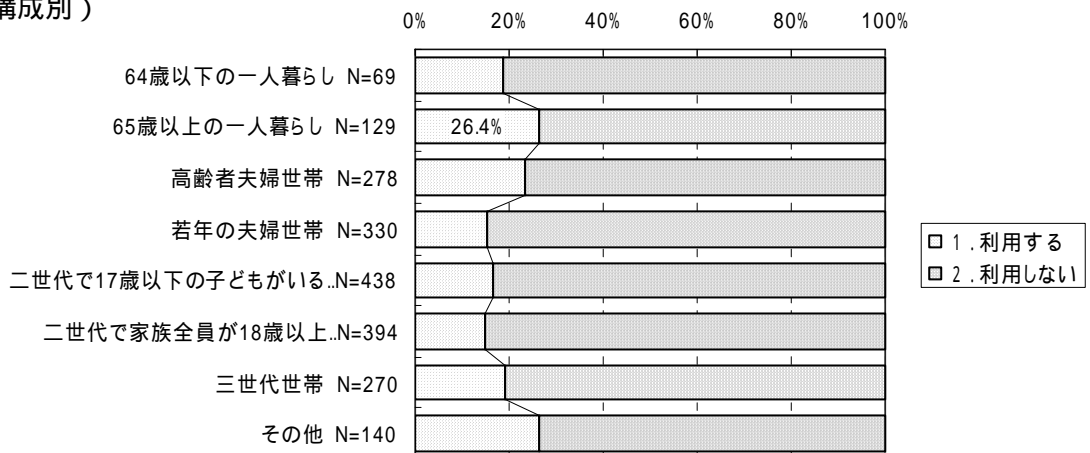
(全体)



(地区別)



(家族構成別)

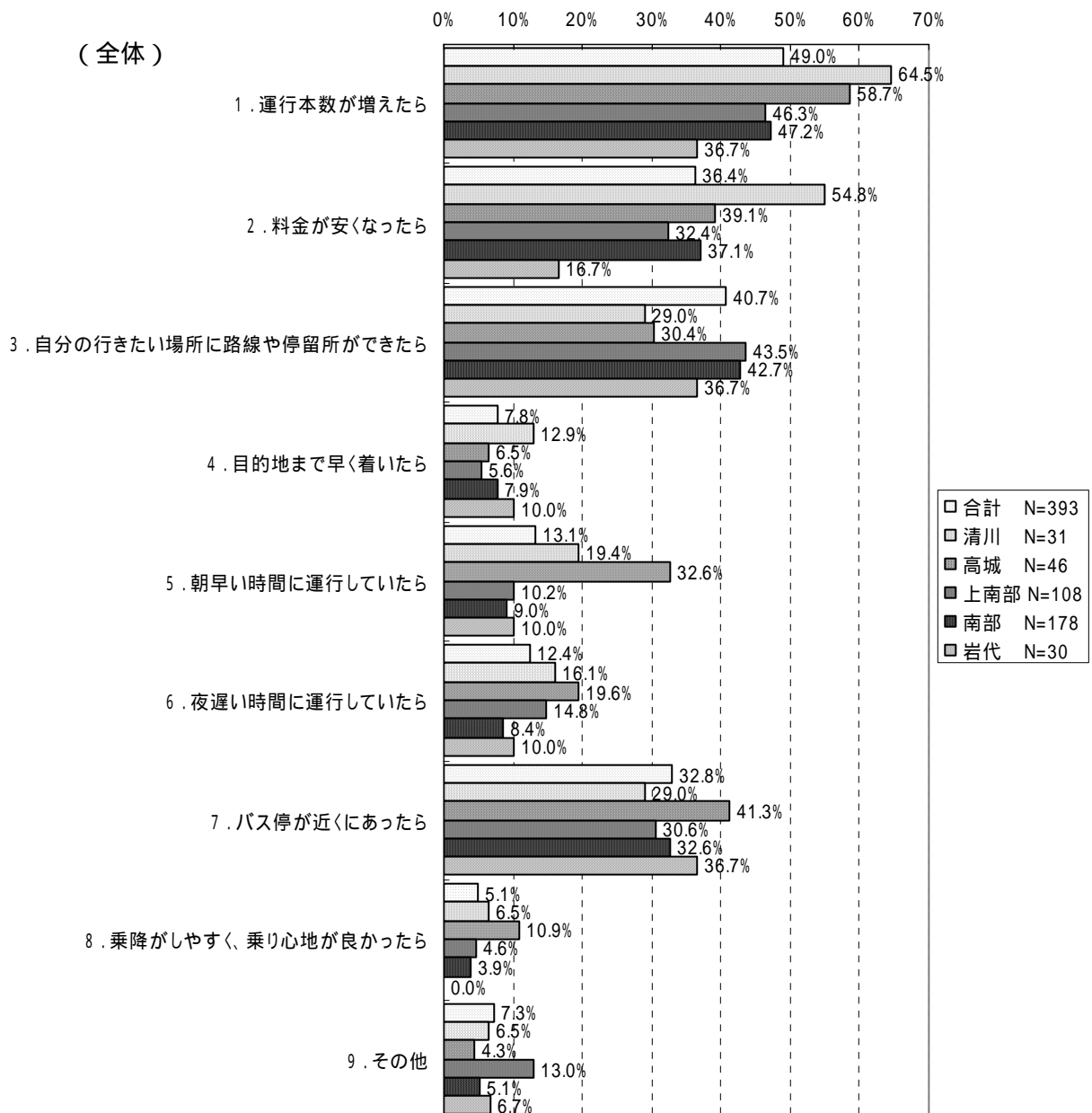


問 5 - 1 . どのような条件が改善されたら利用しますか。

(条件によって路線バスを利用する世帯のみ回答)

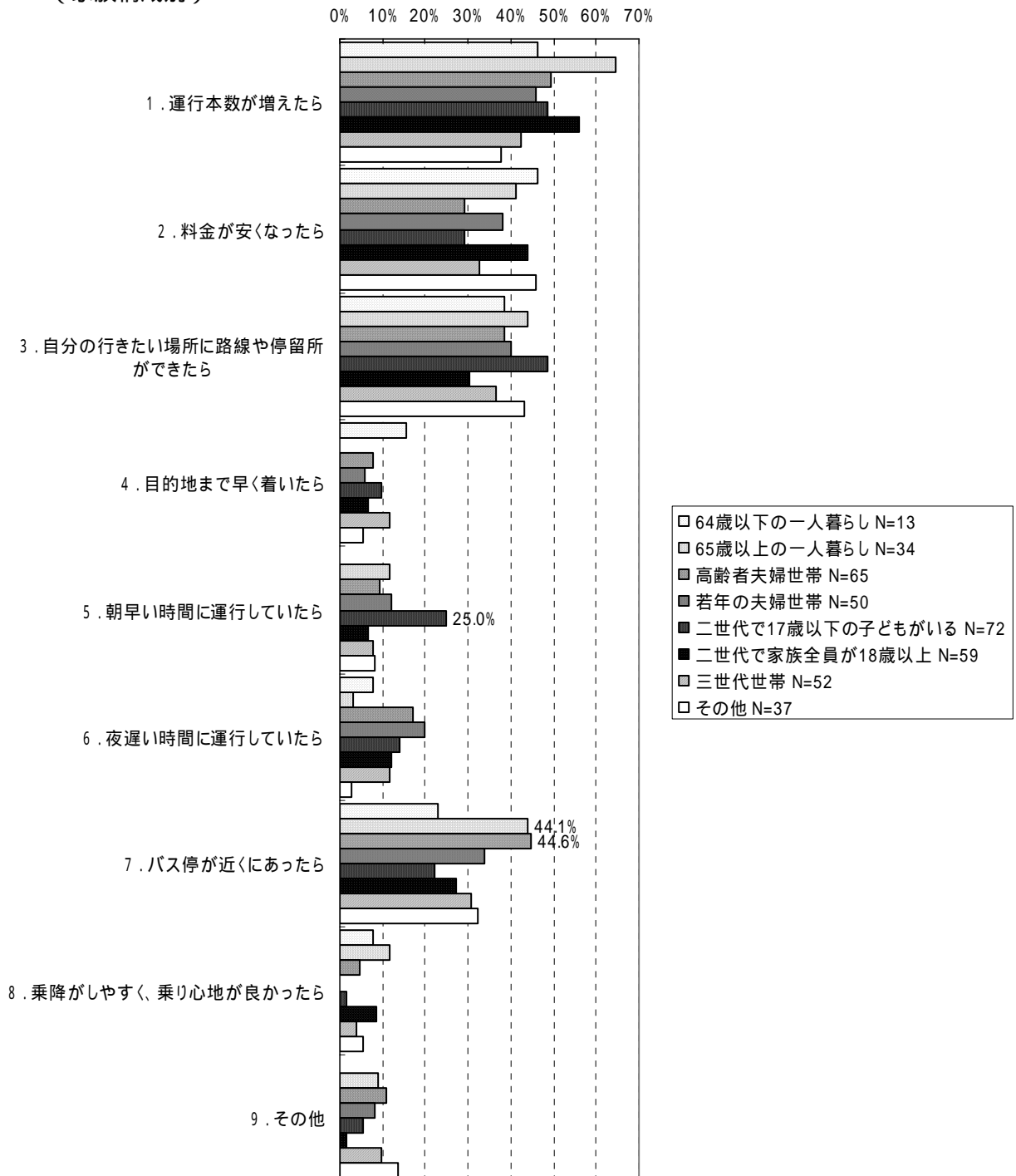
全体で最も多い回答は、「運行本数が増えたら」で 49.0%、次いで「自分の行きたい場所に路線や停留所ができたら」が 40.7%、第 3 位が「料金が安くなったら」の 36.4%となっている。

地区別に見ると、「運行本数が増えたら」の清川地区 64.5%、高城地区 58.7%、「料金が安くなったら」の清川地区 54.8%と 5 割を越えている項目がある。また、高城地区では「朝早い時間に運行していたら」や「夜遅い時間に運行していたら」といった運行時間に対する要求が他地区より高くなっている。岩代地区では、全体で第 3 位であった「料金が安くなったら」は、16.7%と低くなっている。



家族構成別で見ると、「バス停が近くにあったら」が「65歳以上の一人暮らし」(44.1%)、「高齢者夫婦世帯」(44.6%)で第2位となっている。また、2世代で17歳以下の子どもがいる家庭では、「朝早い時間に運行していたら」が他地区より高くなっている。

(家族構成別)

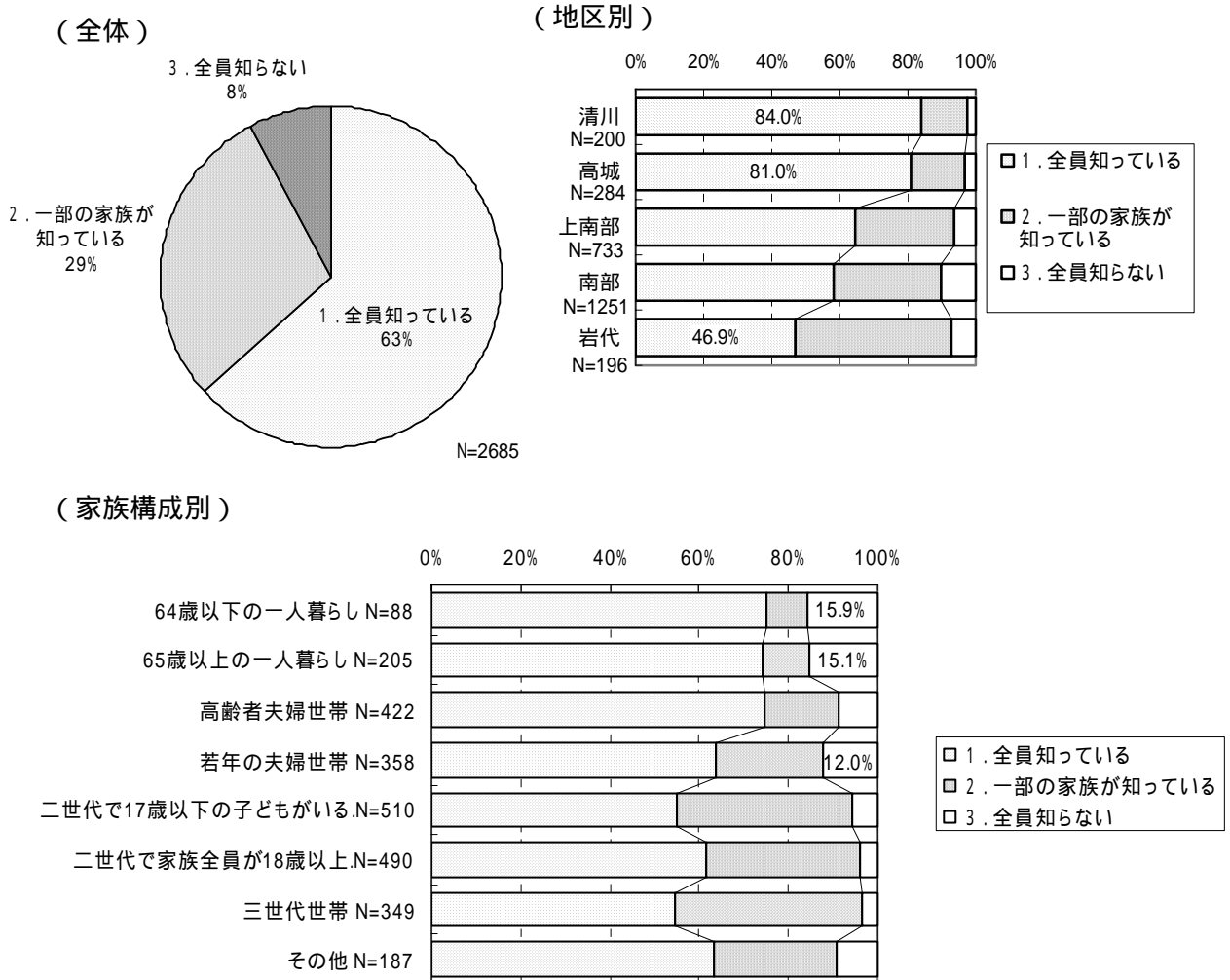


### (3) コミュニティバス・デマンドタクシーの利用状況

問6. あなた及びあなたのご家族は、コミュニティバス・デマンドタクシーの試  
行運行が行われていることをご存じですか。 (全員回答)

全体では「全員知っている」が63%、「一部の家族が知っている」が29%、「全員知らない」が8%であり、町全体にコミュニティバス・デマンドタクシーの情報が浸透していたと評価できる。地区別に見ると、「全員知っている」が清川地区では84%、高城地区で81%であり、両地区での関心の高さが伺われる。逆に岩代地区では「全員知っている」が46.9%と半分以下であった。

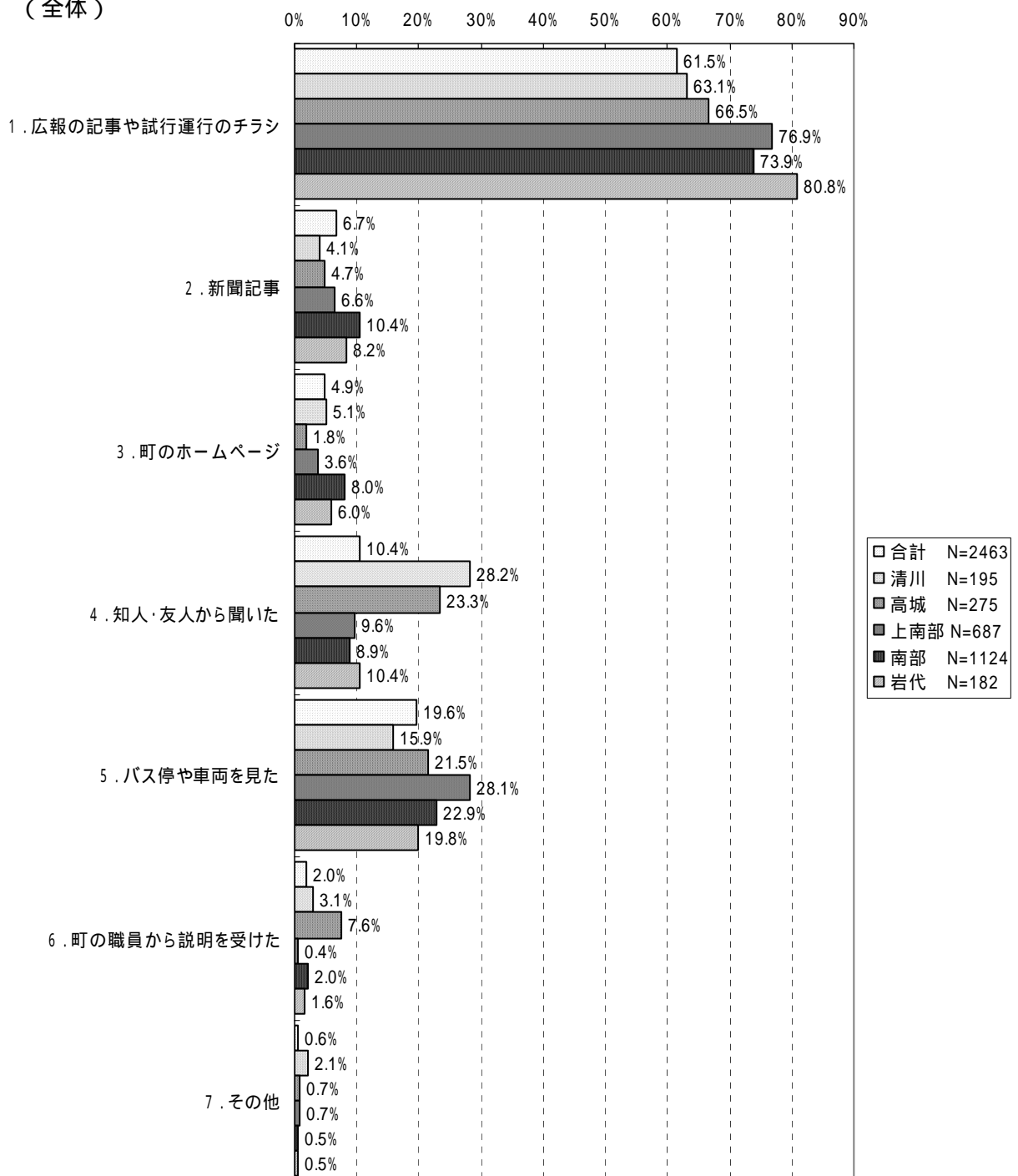
一方一人暮らし世帯や若年の夫婦世帯では「知らない」が若干多くなっている。



問 6 - 1 . コミュニティバス・デマンドタクシーの試行運行をどのように知りま  
したか。 (コミュニティバス・デマンドタクシーを知っている世帯のみ回答)

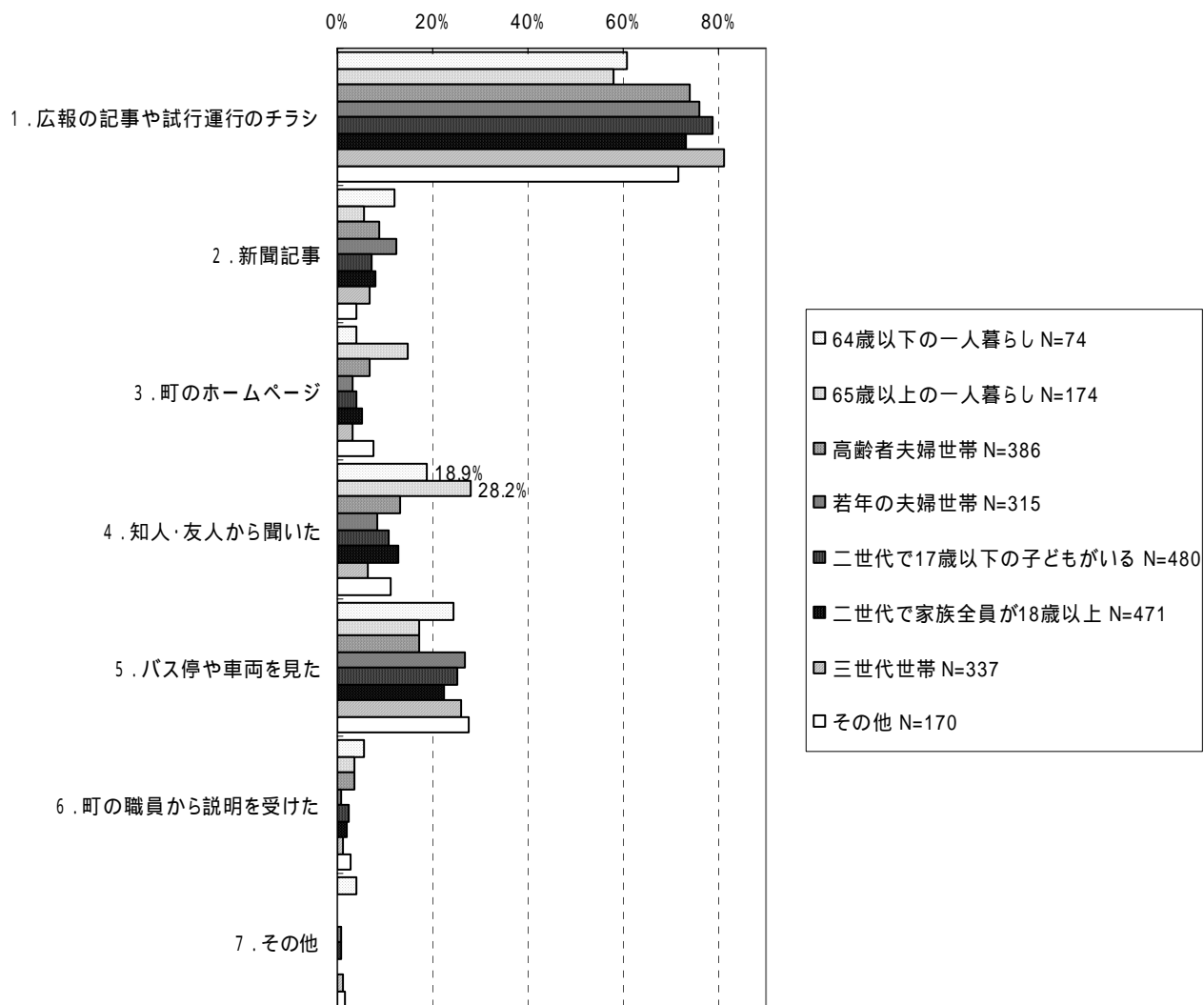
「広報の記事や試行運行のチラシ」からの情報が最も多く、岩代地区では 8 割、全体でも 6 割以上となっている。清川地区と高城地区では「知人・友人から聞いた」が情報源として第 2 位となっている。上南部・南部・岩代地区では「バス停や車両を見た」が第 2 位となっている。「町のホームページ」から知った人は 5%前後である。

(全体)



家族構成別で見ても、すべての世帯で「広報の記事や試行運行のチラシ」が第1位であるが、1人暮らし世帯ではその割合は低くなり、逆に「知人・友人から聞いた」が高くなっている。

(家族構成別)



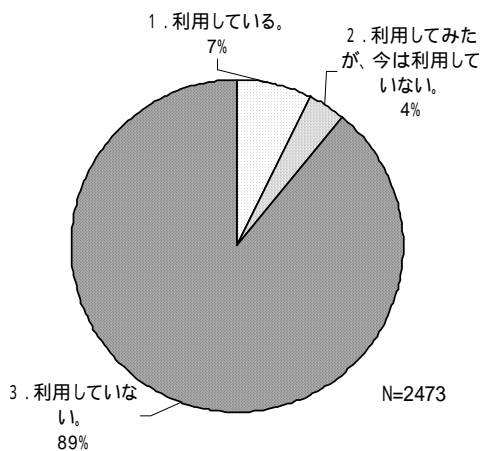
問 6 - 2 . コミュニティバス・デマンドタクシーの利用状況

(全員回答)

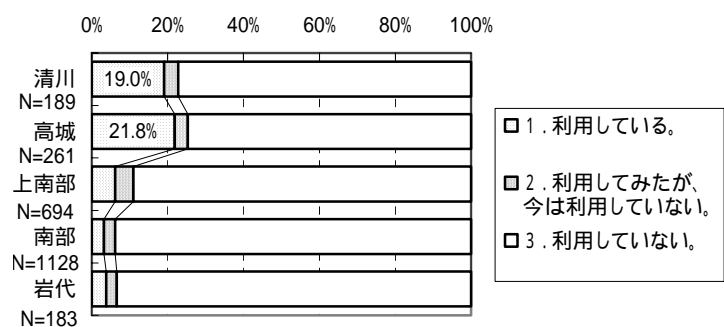
「利用していない」は全世帯の 89%で「利用している」は 7%にとどまっている。また「利用してみたが今は利用していない」は 4%となっている。

もっとも利用率が高いのは高城地区で 21.8%、ついで清川地区の 19.0%である。家族構成別では 65 歳以上の一人暮らしが利用する率が高く、次いで三世帯世帯、64 歳以下の一人暮らしとなっており、若年の夫婦世帯の利用率が最も低い。

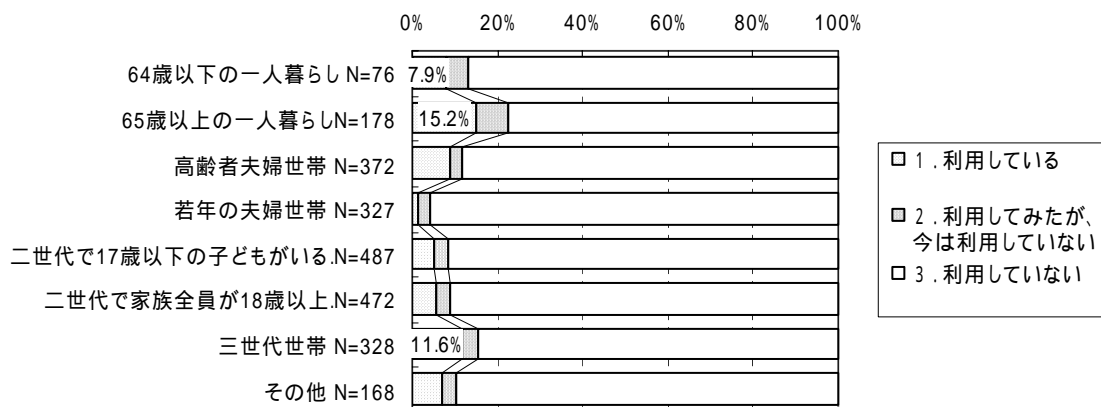
(全体)



(地区別)



(家族構成別)



### 問 6 - 3 . 利用をやめた、また利用しないのはなぜですか。

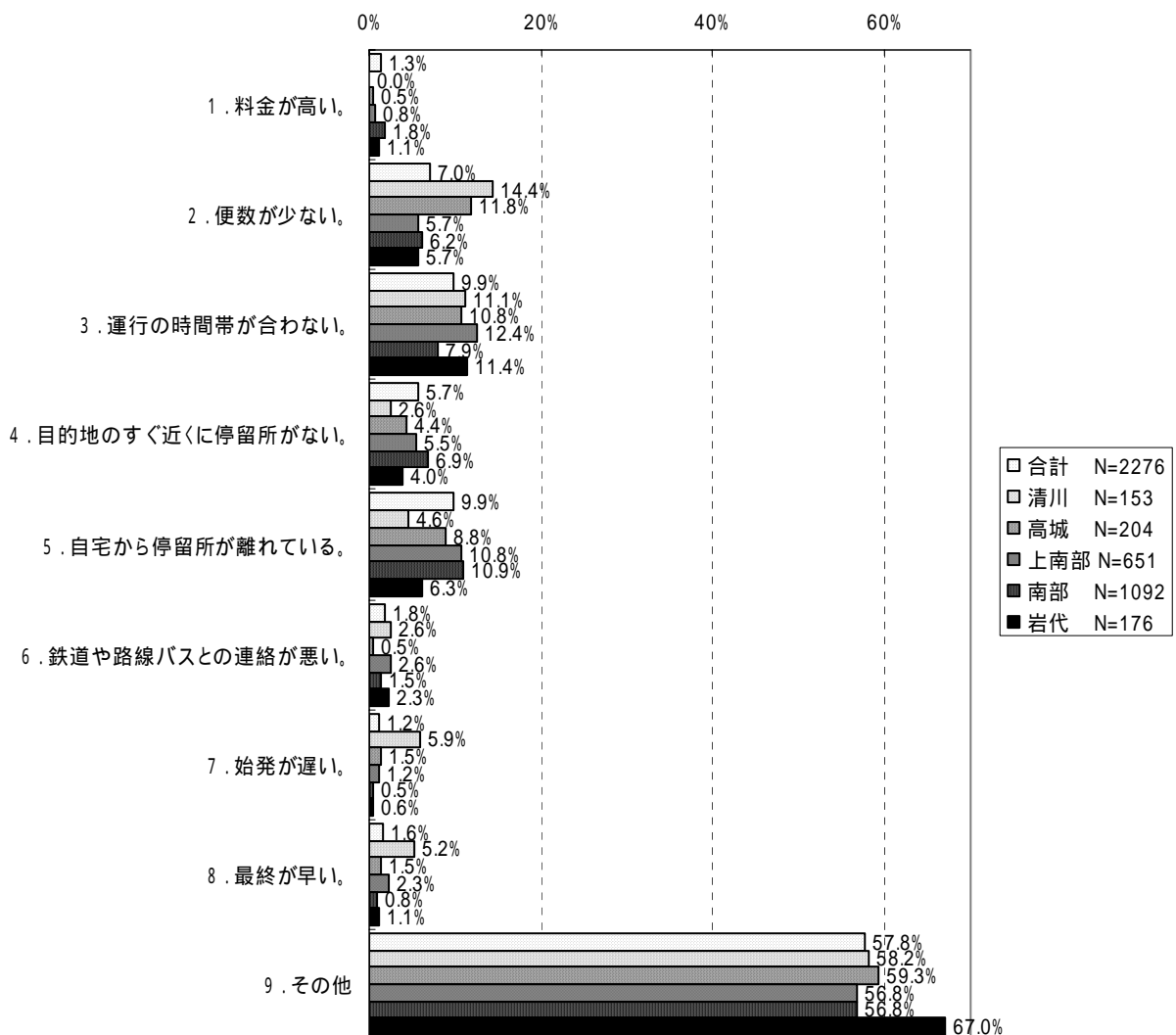
(コミュニティバス・デマンドタクシーの利用をやめたまたは利用しない世帯のみ回答)

全体で最も多い回答は「その他」で、その他の理由のうち約 7 割が「自家用車を利用するため」、次いで「現時点で利用する必要がない」となっており、バスの運行内容自体に理由があるわけではなく、利用する機会がないためとみられる。

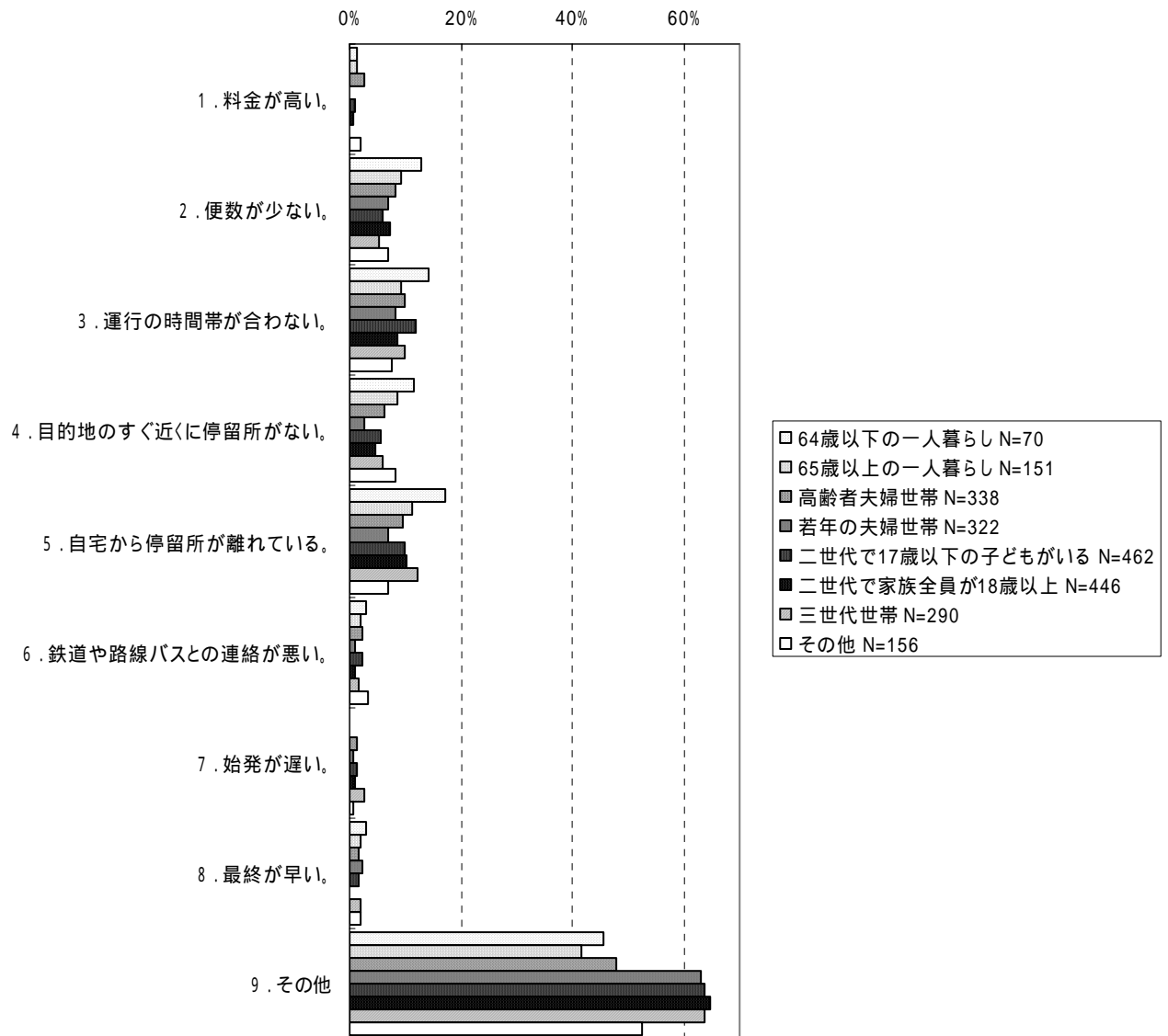
バスの運行内容に関して全体では、「運行の時間帯が合わない」「自宅から停留所が離れている」が同じ割合で第 1 位となっている。

地区別で、清川地区で「便数が少ない」「始発が遅い」が若干多くなっている以外、地区また家族構成による回答差はほとんどみられない。

(全体)



( 家族構成別 )



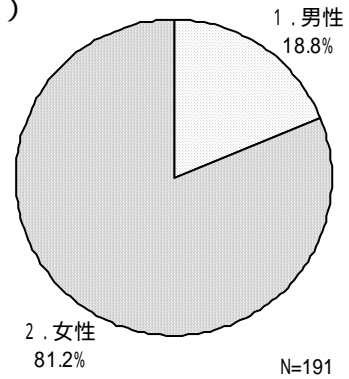
問 6 - 4 . どなたがコミュニティバス・デマンドタクシーをご利用ですか。

(コミュニティバス・デマンドタクシー利用世帯のみ回答)

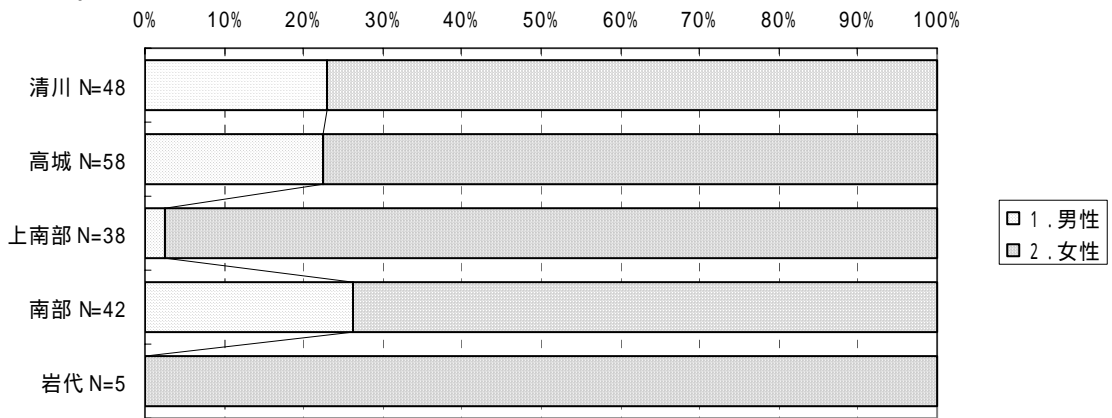
性別

(全体)

利用者は女性が約 8 割、男性が約 2 割となっており、  
全体的に女性の利用者が多い。



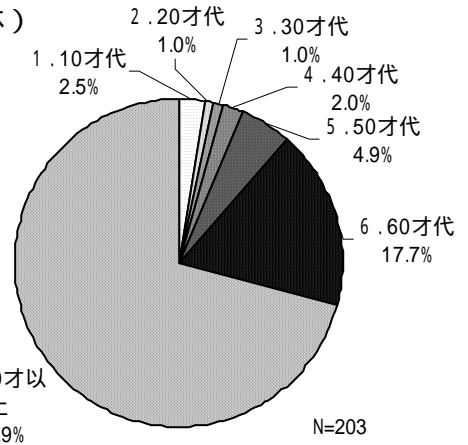
(地区別)



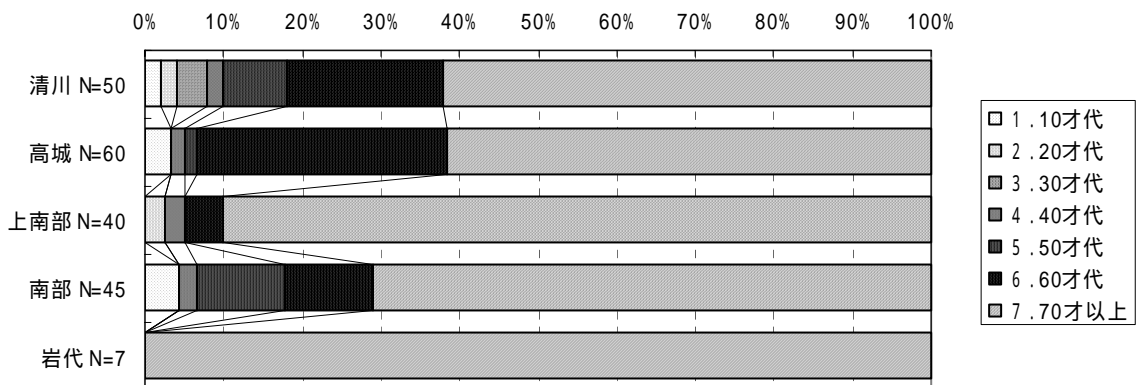
年代

利用者のうち約 70%が 70 才代以上、次いで 60 才代が 17.7%となっており、高齢者の利用率が高い。逆に 10、20、30 才代は 1.0~2.5%と低くなっている。

(全体)



(地区別)

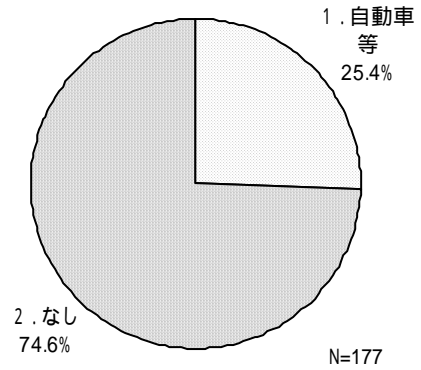


## 免許証

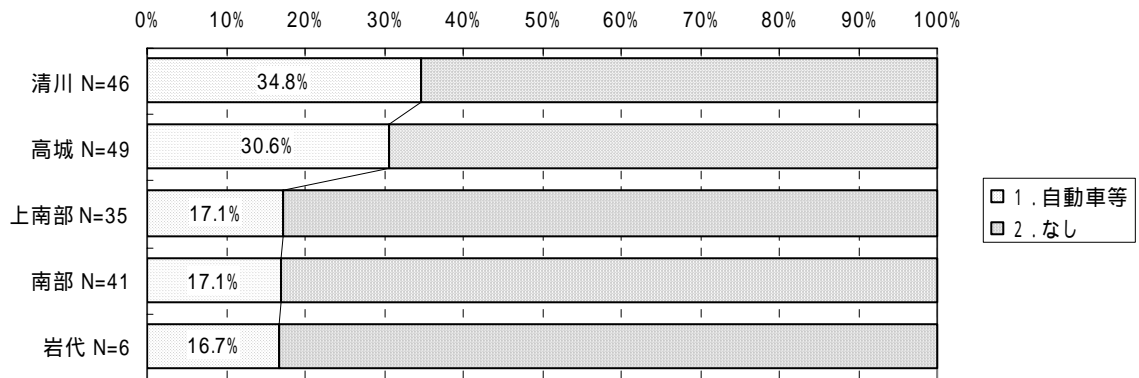
利用者のうち自動車等の免許証の所有率は 25.4% となっている。

地区別にみると、免許証の所有率が高いのは清川地区で 34.8%あり、次いで高城地区の 30.6%、上南部、南部、岩代地区はほぼ同じ割合で約 17%となっている。

(全体)



(地区別)

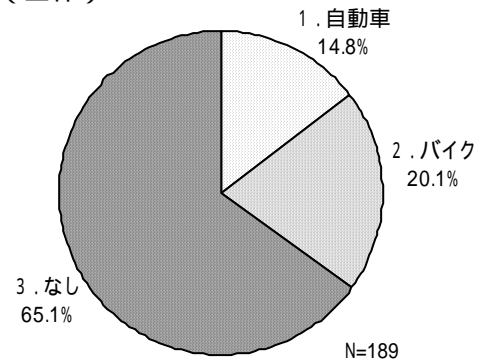


## 本人が使える自動車等

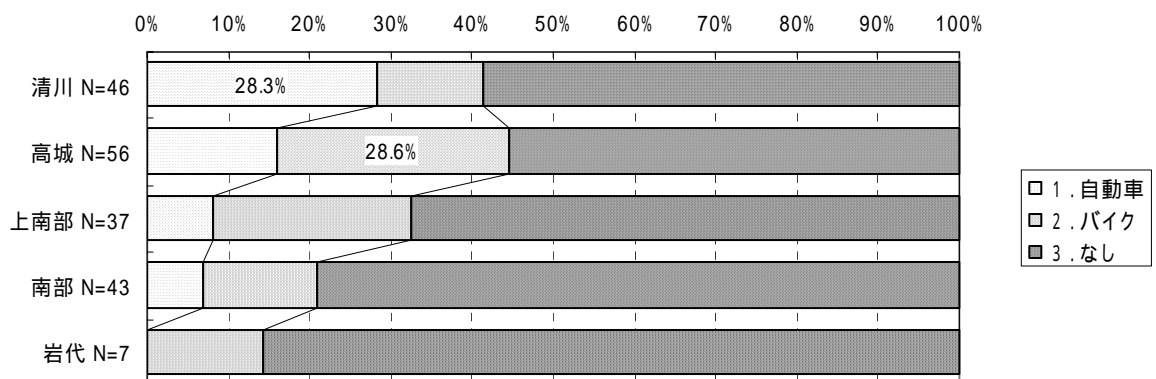
バス利用者のうち自動車が使える人は 14.8%、バイクが使える人は 20.1%となっている。

自動車を使える人は清川地区で多く、バイクを使える人は高城地区で多い。

(全体)



(地区別)



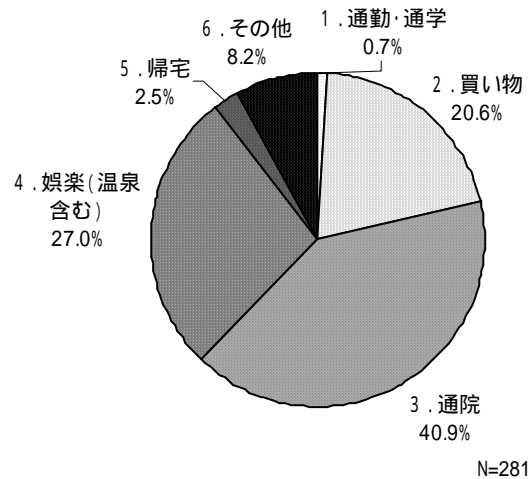
## バス利用の目的

通院が 40.9%と最も多く、次いで娯楽、買い物となっている。

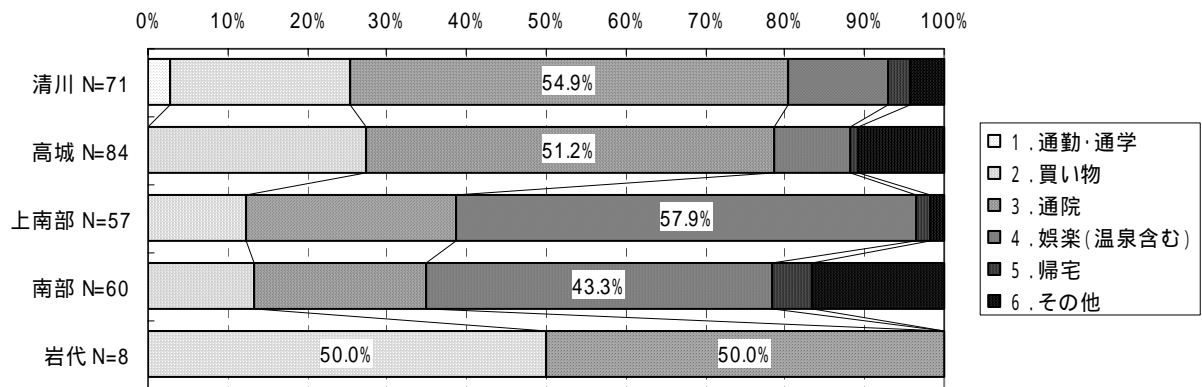
地区別では利用目的に差が見られ、岩代地区では、買い物と通院で半々の割合となっている。清川地区と高城地区では、通院が約 50%、次いで買い物となっている。

上南部、南部地区では、娯楽が多く、それぞれ 57.9%、43.3%を占めている。

(全体)



(地区別)

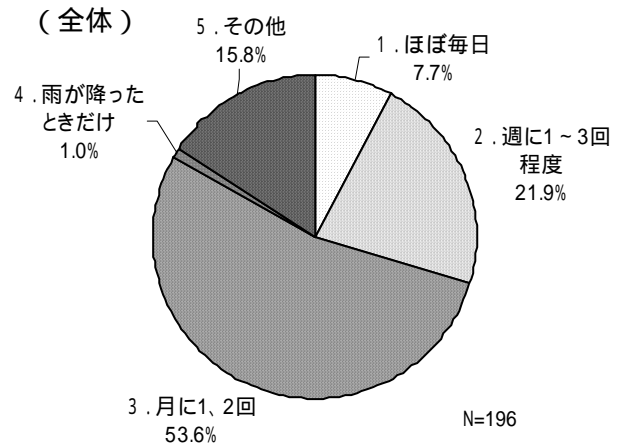


## 利用頻度

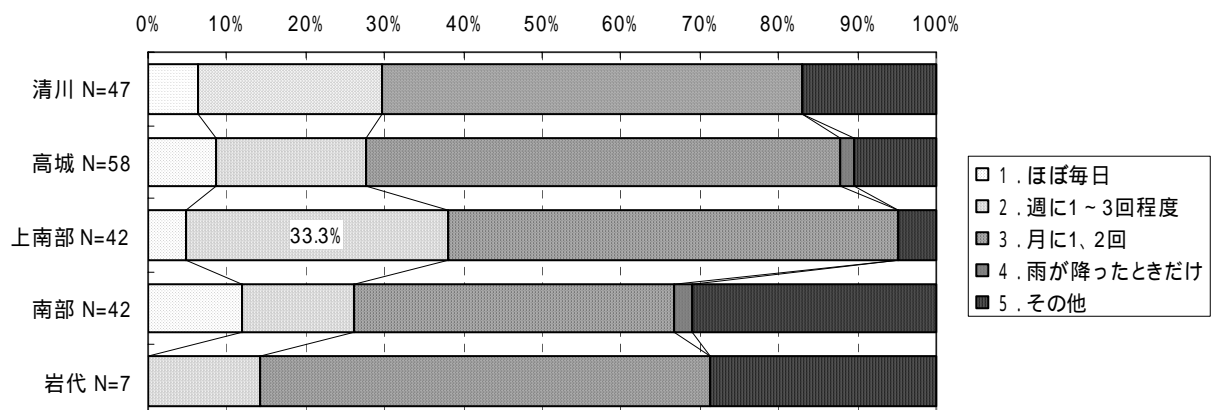
バス利用者のうち約半分が「月 1, 2 回」の利用となっている。次いで「週に 1~3 回」が 21.9%と続いている。

南部地区で「週に 1~3 回」の利用が約 3 割と高くなっているほかは、地区での回答差はあまり見られない。

(全体)



(地区別)

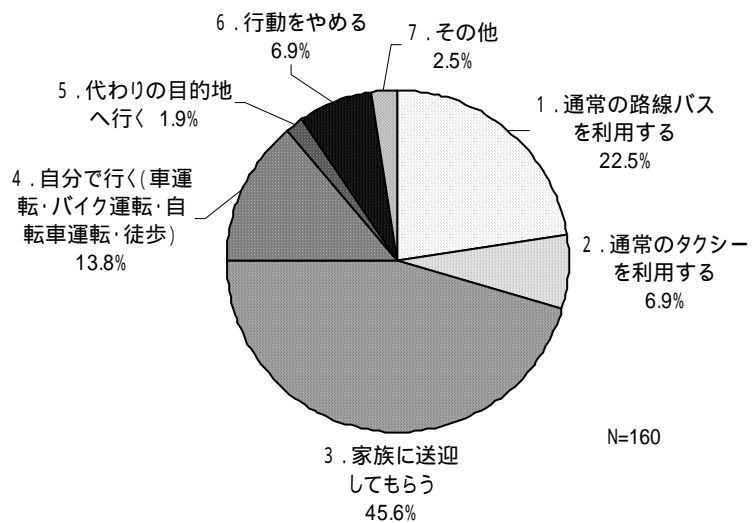


もしコミュニティバス・デマンドタクシーがなかったら、あなたはどのようにして目的地へ行きますか。

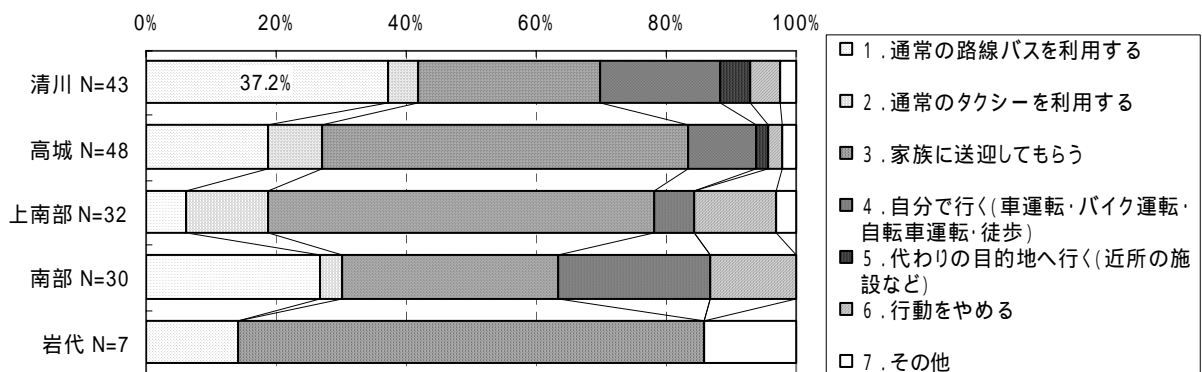
全体で最も多い回答は「家族に送迎してもらおう」で45.6%を占めている。次いで「通常の路線バスを利用する」が22.5%、「(車、バイクなどで)自分で行く」が13.8%と続いている。

地区別にみると、清川地区を除き「家族に送迎してもらおう」が多い。清川地区では「通常の路線バスを利用する」が37.2%で最も多くなっている。

(全体)



(地区別)



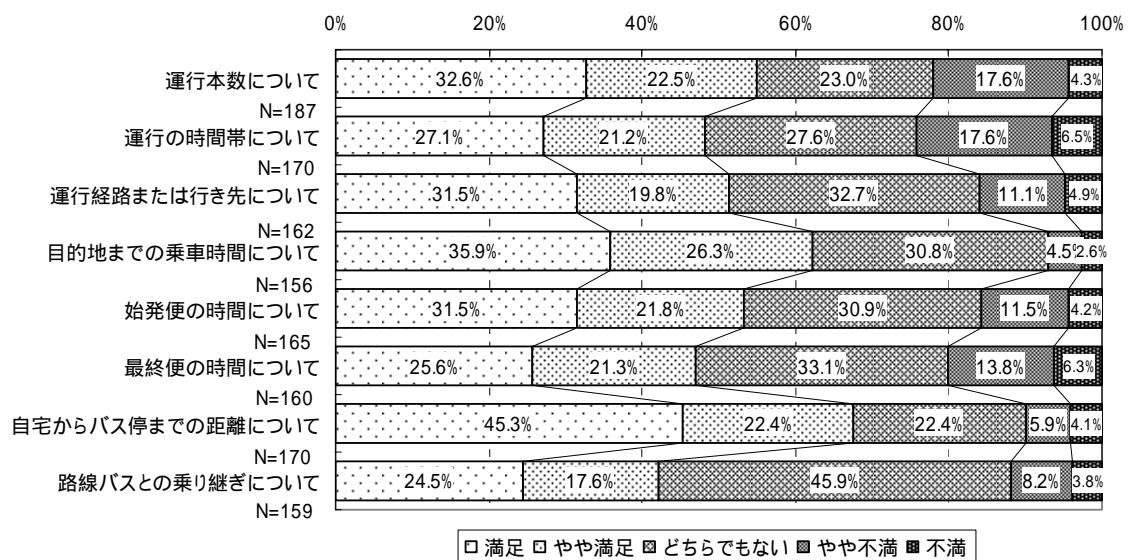
## 問 6 - 5 . コミュニティバス・デマンドタクシーの運行について

(コミュニティバス・デマンドタクシー利用世帯のみ回答)

コミュニティバス・デマンドタクシーの利用者のうち、「満足」と「やや満足」(どちらかという満足)、「不満」と「やや不満」(どちらかという不満)と答えた項目の上位は、それぞれ下表に示す通りである。どちらかという満足の第1位は「自宅からバス停までの距離について」で67.6%、第2位が「目的地までの乗車時間について」で62.2%、「運行本数について」が55.1%と続いている。もっとも満足度が低い「路線バスとの乗り継ぎについて」でも42.1%がどちらかという満足となっており、全体的に全ての項目について満足度は高いといえる。

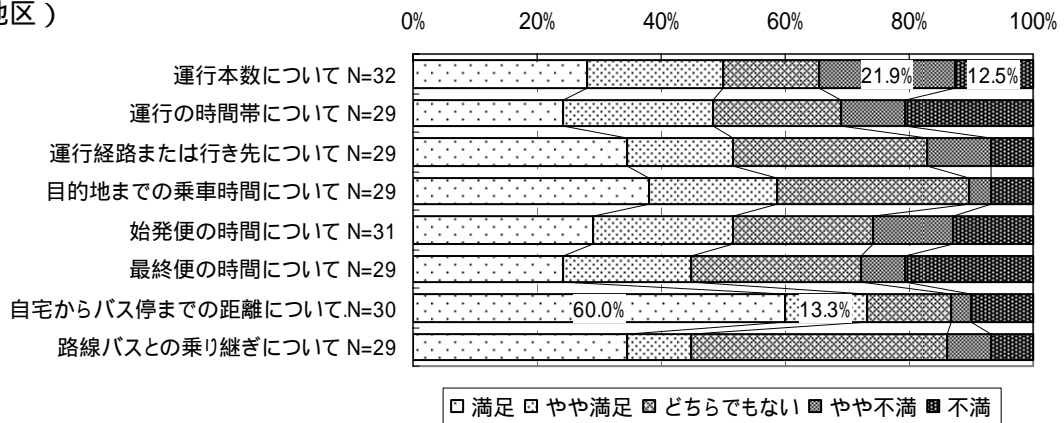
	どちらかという満足		どちらかという不満
自宅からバス停までの距離について	67.6%	運行の時間帯について	24.1%
目的地までの乗車時間について	62.2%	運行本数について	21.9%
運行本数について	55.1%	最終便の時間について	20.0%

(全体)

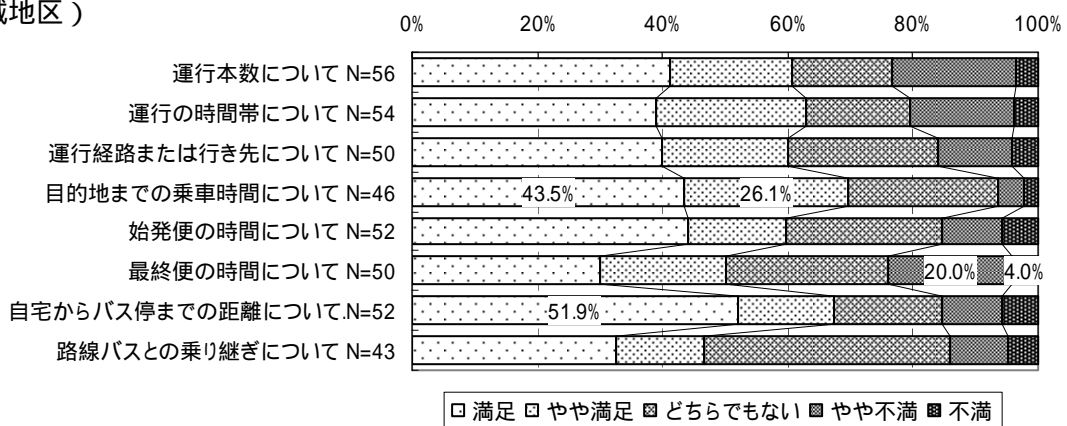


地区別で見ると、清川、高城、上南部地区でいずれの項目もどちらかという満足の割合が高い。一方南部地区は全般にどちらかという満足の割合が他の地区に比べ低く、とくに「運行の時間帯について」のどちらかという不満が41.2%と高くなっている。

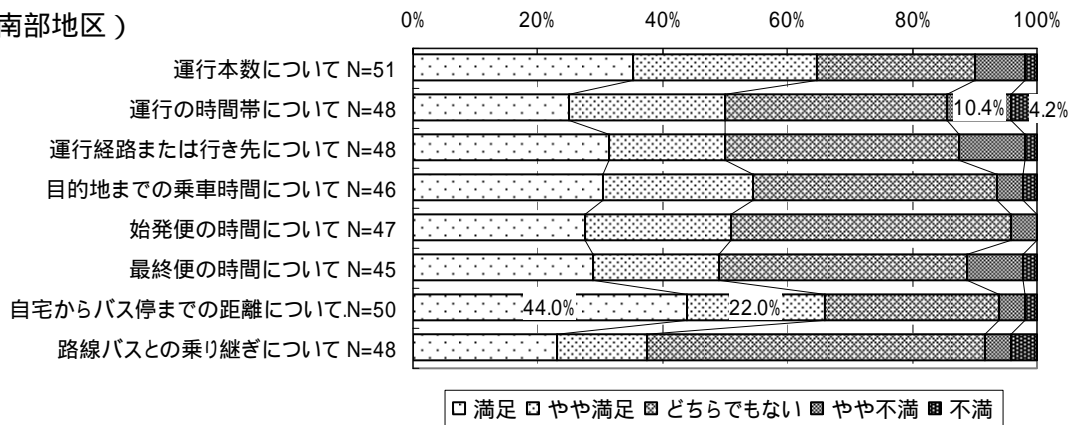
(清川地区)



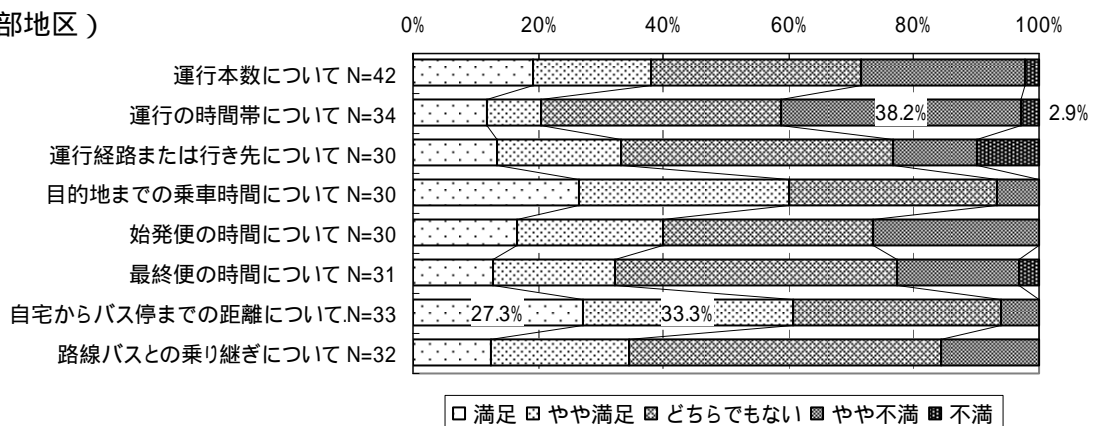
(高城地区)



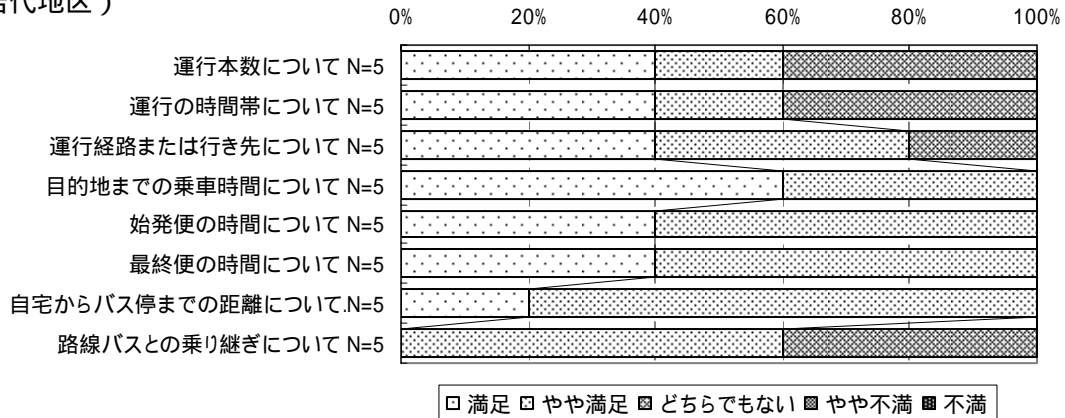
(上南部地区)



(南部地区)



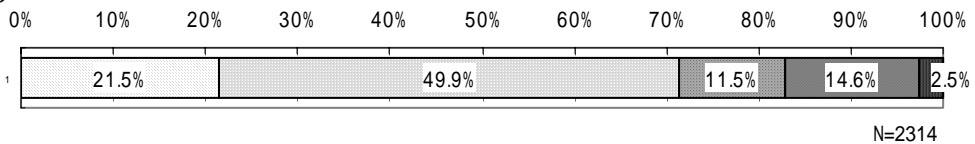
(岩代地区)



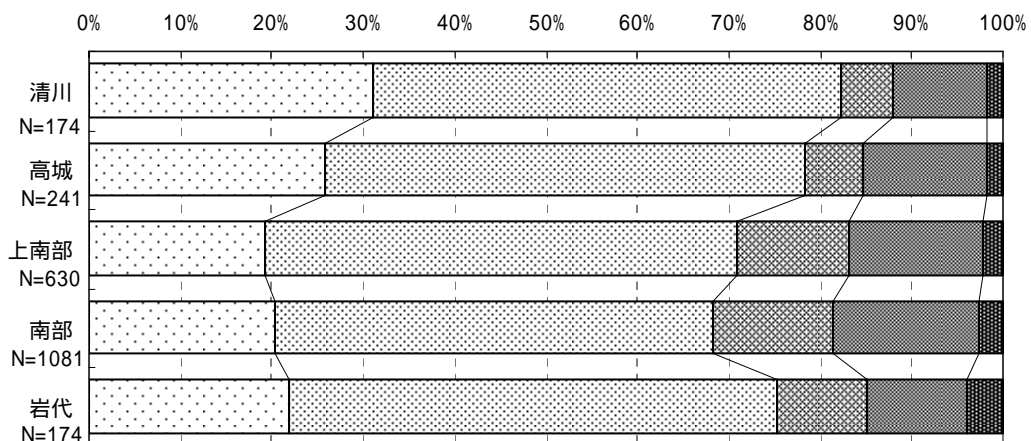
問 7 . コミュニティバスの運行の不足分を税金で負担しています。このような税金の使い方をどのようにお考えですか。 (全員回答)

「交通不便地域の住民の交通手段を確保するためには税金を使うことは当然だと思う」が 21.5%、「一定の利用者負担を求めた上で税金を使うことはやむを得ないと思う」が約 50%あり、全体の約 7 割が税金での負担に肯定的であるという結果が得られた。「町の税金を特定地域に投入することは不公平になるので賛成できない」は、全体で 11.5%となっている。

(全体)

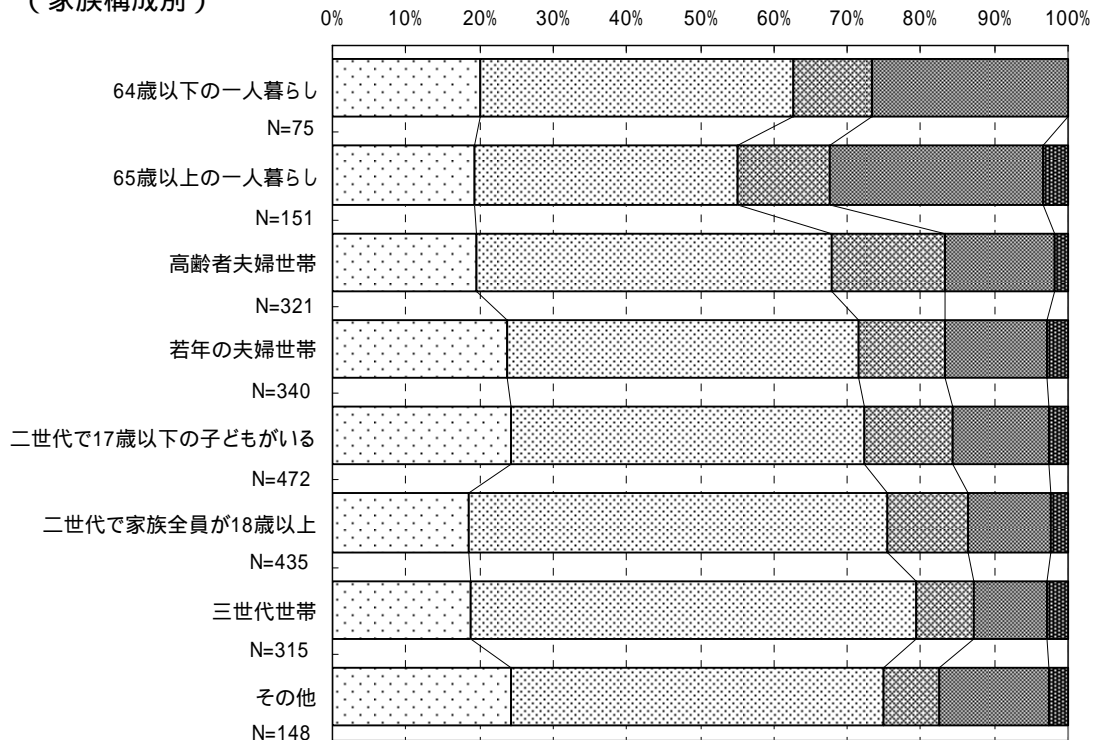


(地区別)



- 1 . 交通不便地域の住民の交通手段を確保するためには税金を使うことは当然だと思う。
- ▣ 2 . 一定の利用者負担を求めた上で税金を使うことはやむを得ないと思う。
- ▨ 3 . 町の税金を特定地域に投入することは不公平になるので賛成できない。
- ▧ 4 . わからない。
- ▩ 5 . その他

(家族構成別)



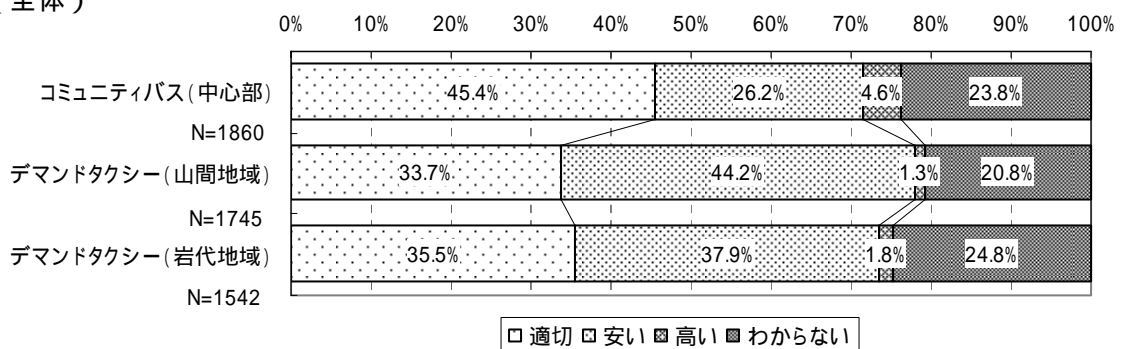
- 1. 交通不便地域の住民の交通手段を確保するためには税金を使うことは当然だと思う。
- 2. 一定の利用者負担を求めた上で税金を使うことはやむを得ないと思う。
- 3. 町の税金を特定地域に投入することは不公平になるので賛成できない。
- 4. わからない。
- 5. その他

問 8 . コミュニティバス・デマンドタクシー利用の 1 回 200 円の料金をどのよう  
にお考えですか。 (全員回答)

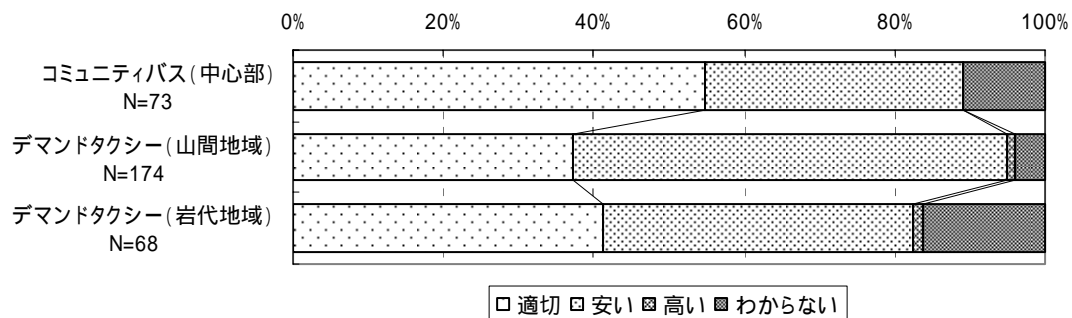
「コミュニティバス(中心部)」は「適切」が 45.4%、「安い」が 26.2%、「デマンドタクシー(山間地域)」は「適切」33.7 が%、「安い」が 44.2%、「デマンドタクシー(岩代地域)」は「適切」が 33.7%、「安い」が 37.9%となっている。「高い」はいずれのルートも低く 5% 以下であった。

地区別、家族構成別とも、「適切」「安い」「高い」の割合にほとんど差はみられない。

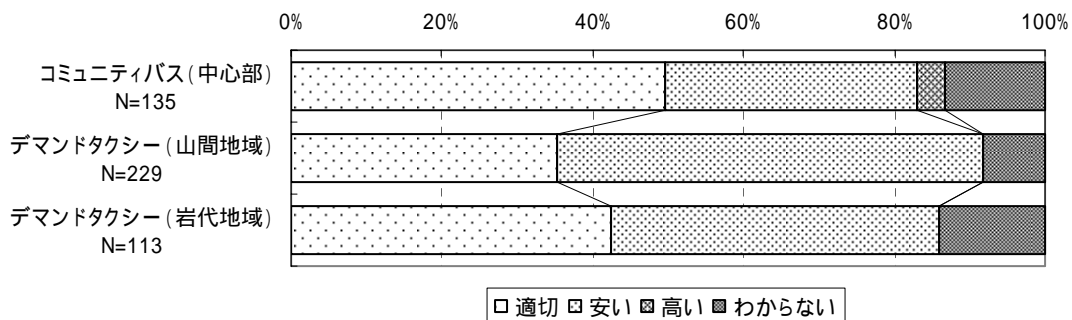
(全体)



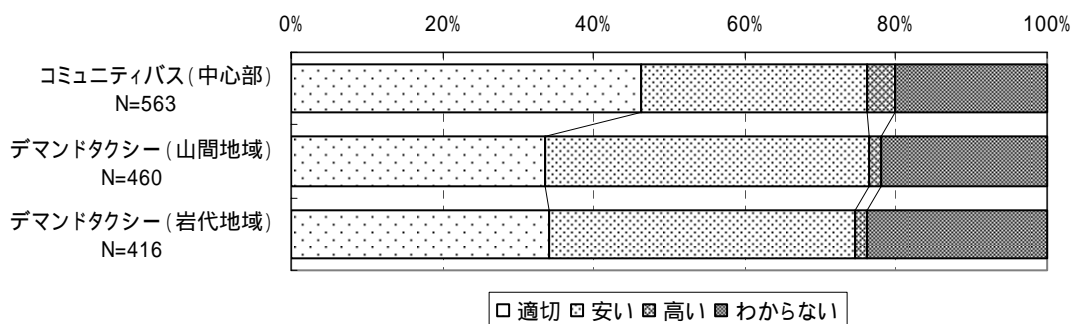
(清川地区)



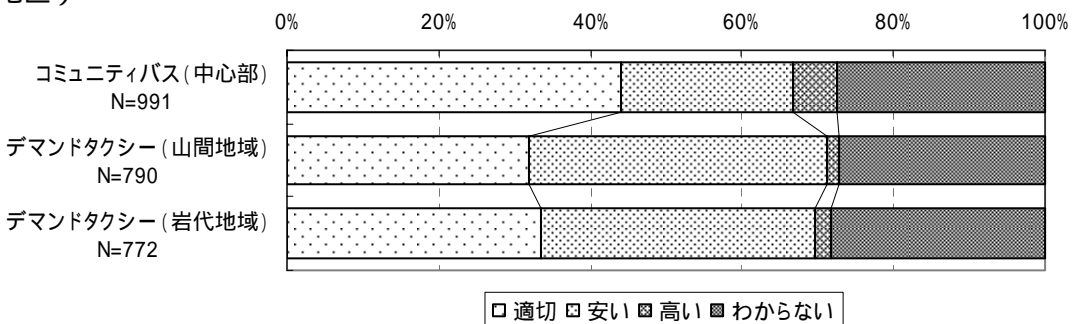
(高城地区)



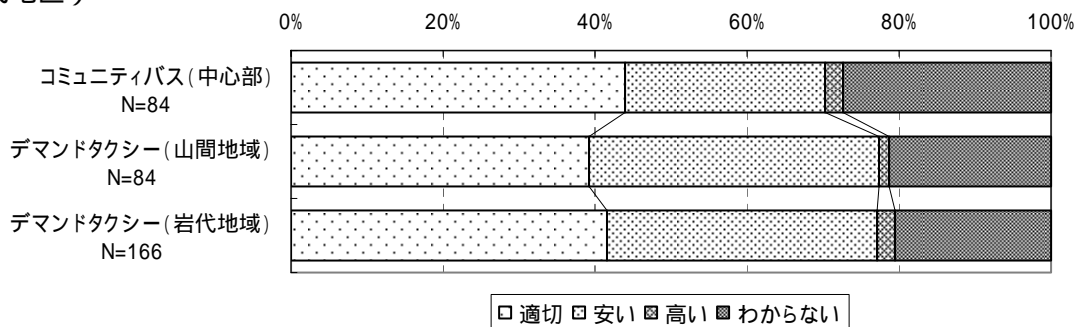
(上南部地区)



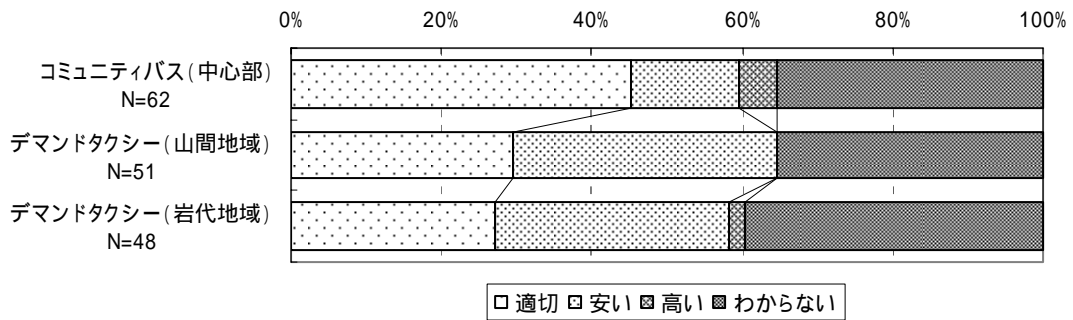
(南部地区)



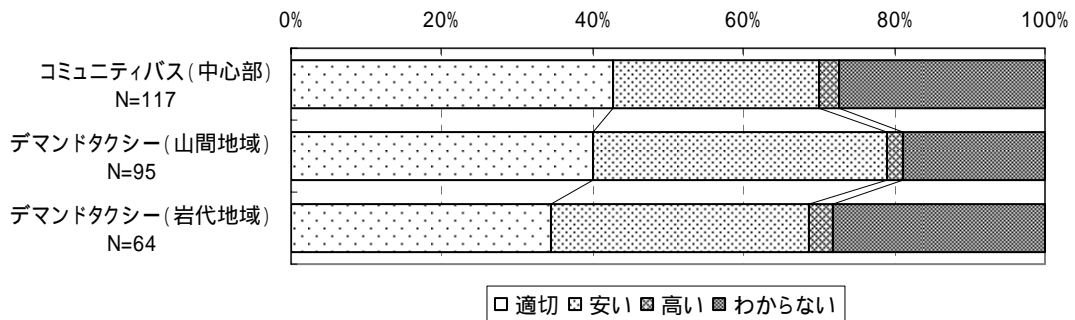
(岩代地区)



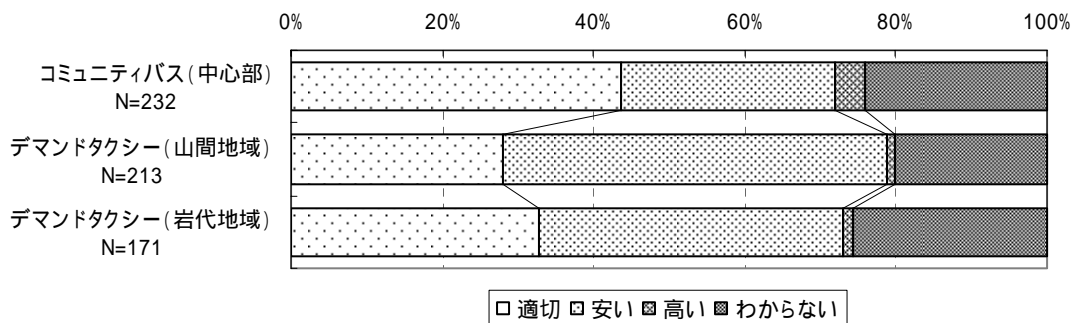
( 64 歳以下の一人暮らし )



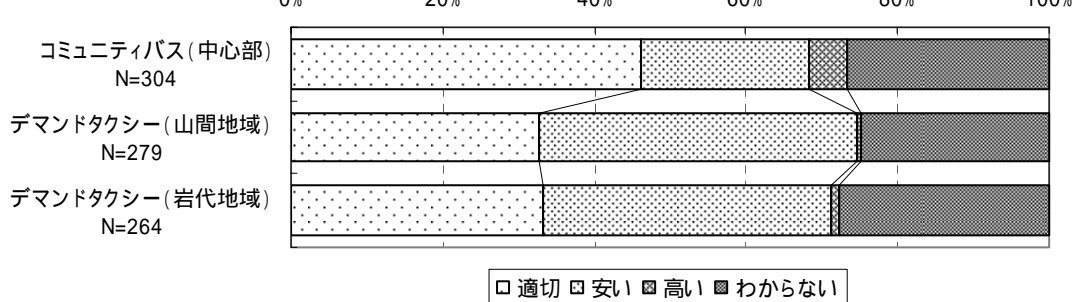
( 65 歳以上の一人暮らし )



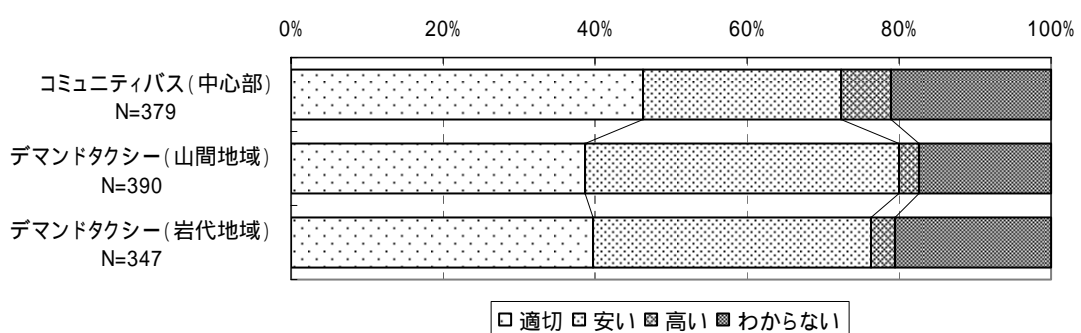
( 高齢者夫婦世帯 )



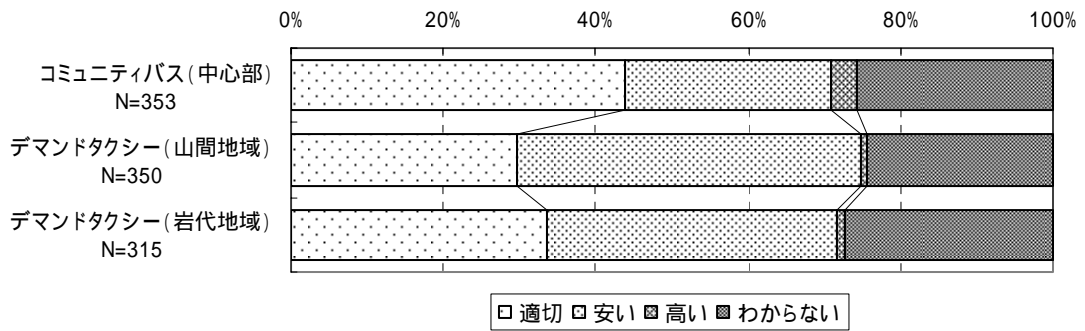
( 若年の夫婦世帯 )



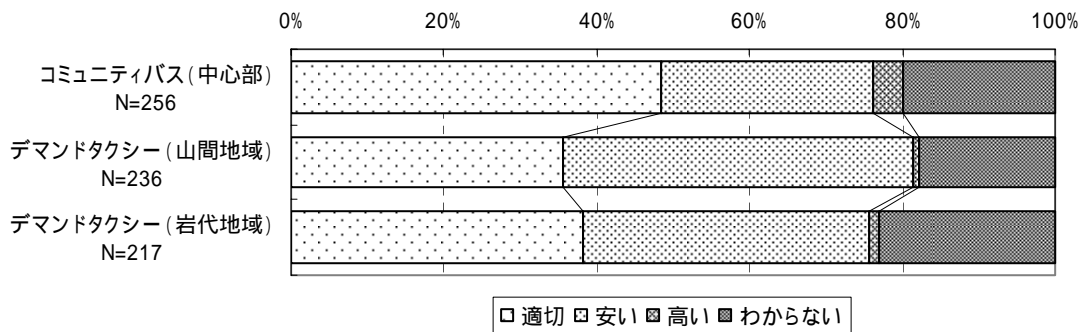
( 二世家で 17 歳以下の子供がいる )



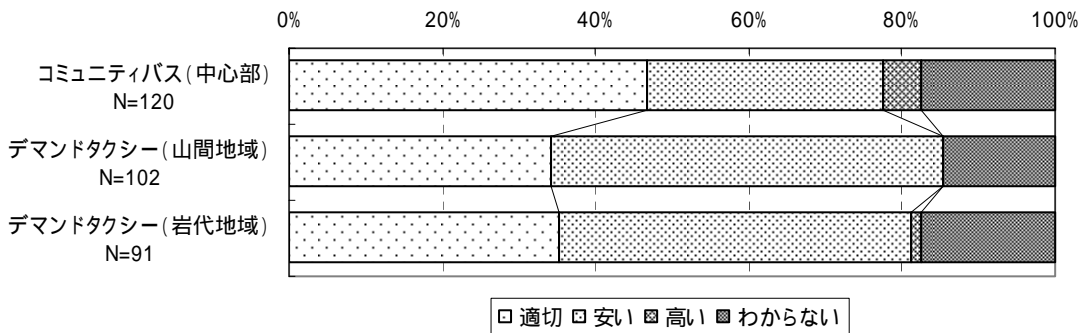
(二世世代で家族全員が18歳以上)



(三世代世帯)



(その他)



問9. コミュニティバス等を運行していくため、現在の料金を値上げすることも考えられます。これについて、あなたはどのようにお考えですか。

(全員回答)

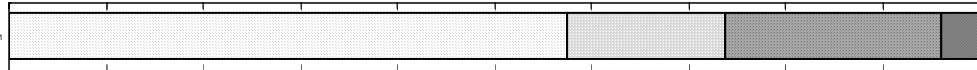
「運行するためにはやむを得ないと思う」が57.6%、次いで「わからない」が22.3%、「利用者にこれ以上の料金負担がかかるので賛成できない」が16.2%となっている。

地区別で見ると、「運行するためにはやむを得ないと思う」は中心部から離れるほど高くなっており、清川地区では77.7%である。「利用者にこれ以上の料金負担がかかるので賛成できない」は中心部に近いほど高く、南部地区で18.4%となっている。」

家族構成別では、回答の差はほとんどみられない。

(全体)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

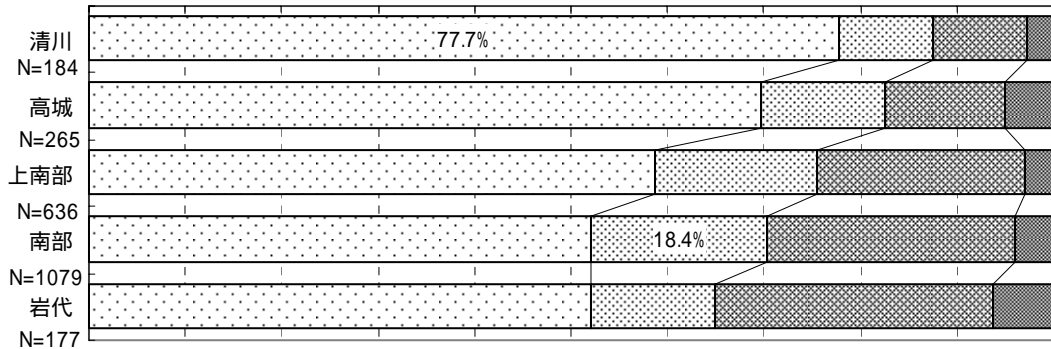


N=2357

- 1. 運行するためにはやむを得ないと思う。
- 2. 利用者にこれ以上の料金負担が掛かるので賛成できない。
- 3. わからない
- 4. その他

(地区別)

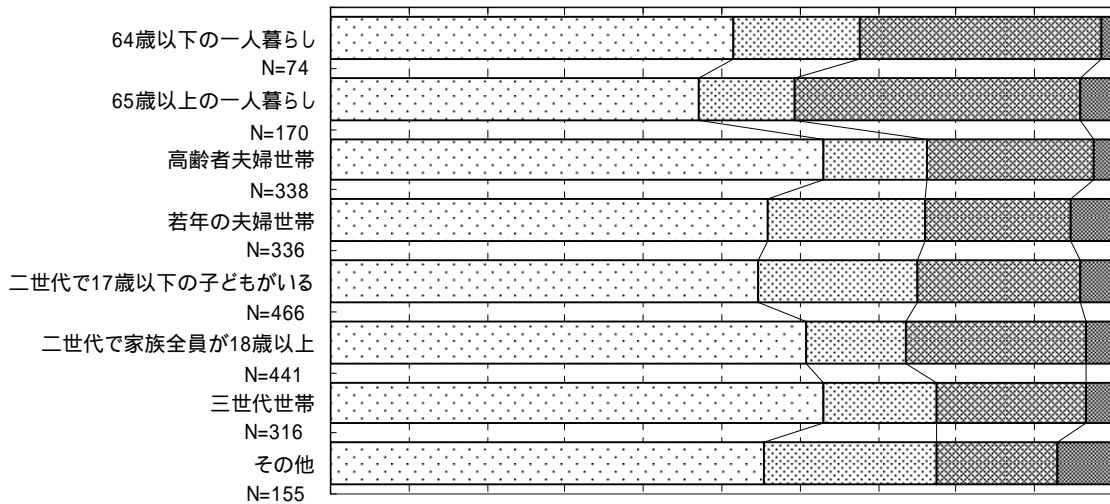
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



- 1. 運行するためにはやむを得ないと思う。
- 2. 利用者にこれ以上の料金負担が掛かるので賛成できない。
- 3. わからない
- 4. その他

(家族構成別)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



- 1. 運行するためにはやむを得ないと思う。
- 2. 利用者にこれ以上の料金負担が掛かるので賛成できない。
- 3. わからない
- 4. その他

問 9 - 1 .問 9 で「1 .やむを得ない」を選択された方はその金額をお答え下さい。

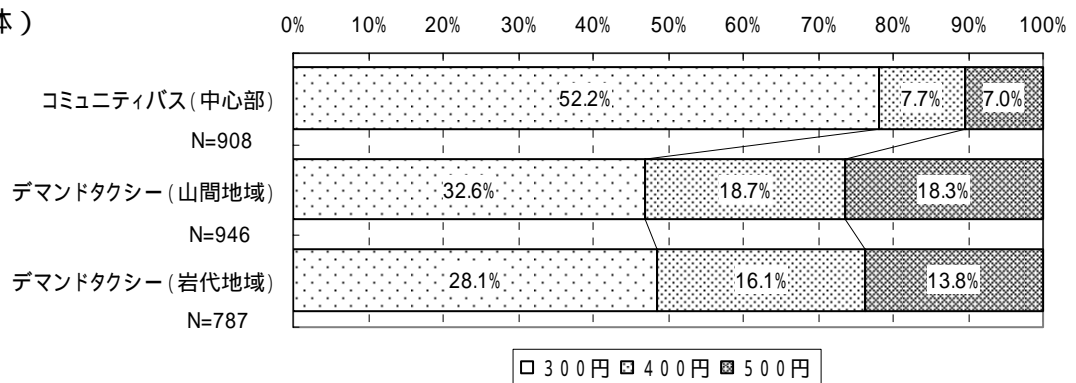
(料金値上げはやむを得ないとした世帯のみ回答)

コミュニティバス・デマンドタクシーとも、「300 円」が最も多く、「400 円」「500 円」がほぼ同じ割合で続いているが、コミュニティバスでは「300 円」の割合が他に比べ高くなっている。

地区別で見ると、全体の回答率と大きな差は見られないが、岩代地区では、いずれのルートも、「300 円」の回答率が高くなっている。

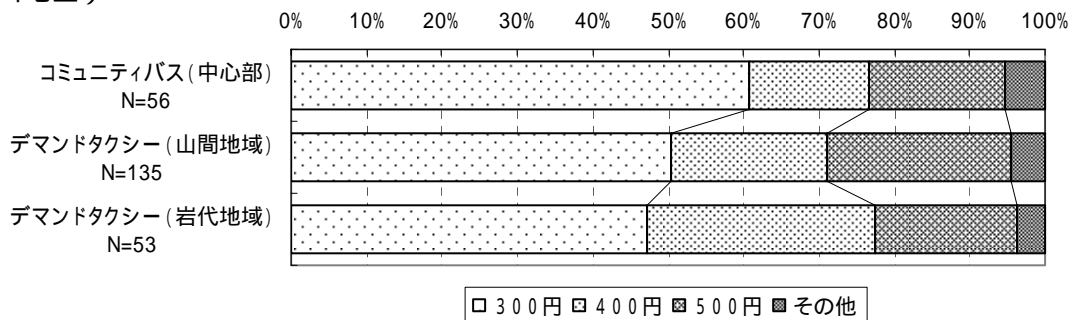
家族構成別では、全体的な割合に大きな違いは見られない。

(全体)

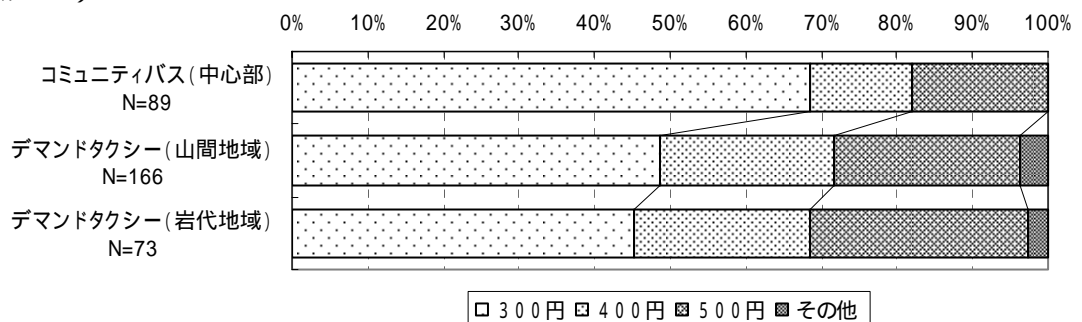


(地区別)

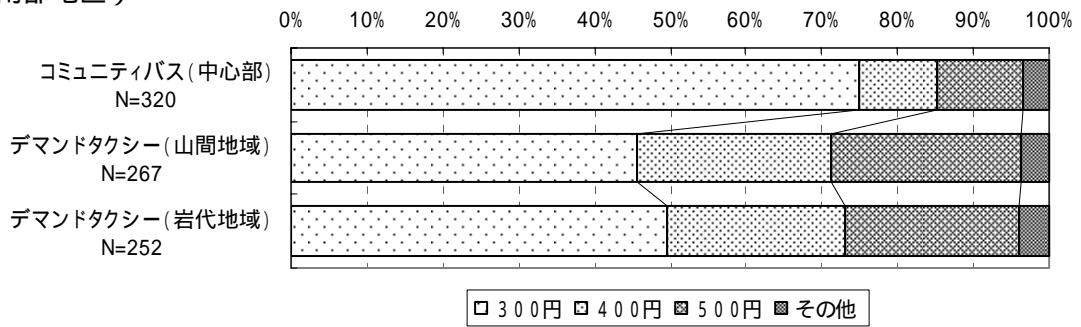
(清川地区)



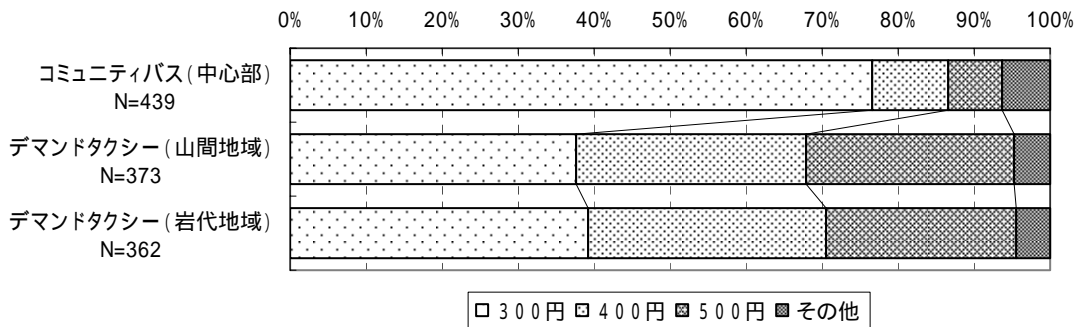
(高城地区)



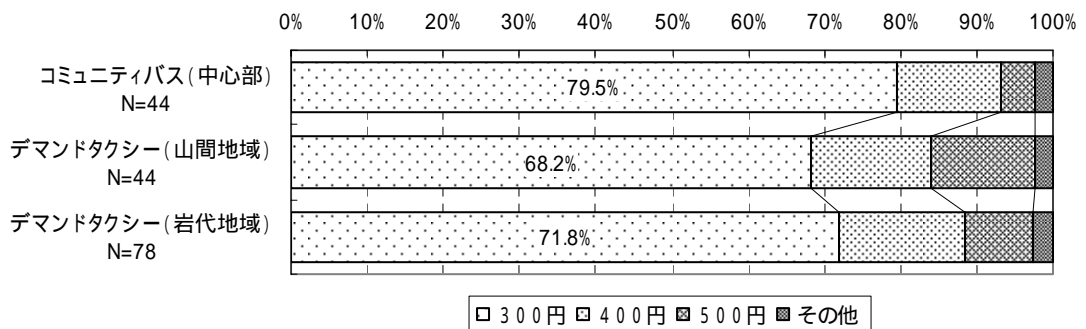
( 上南部地区 )



( 南部地区 )

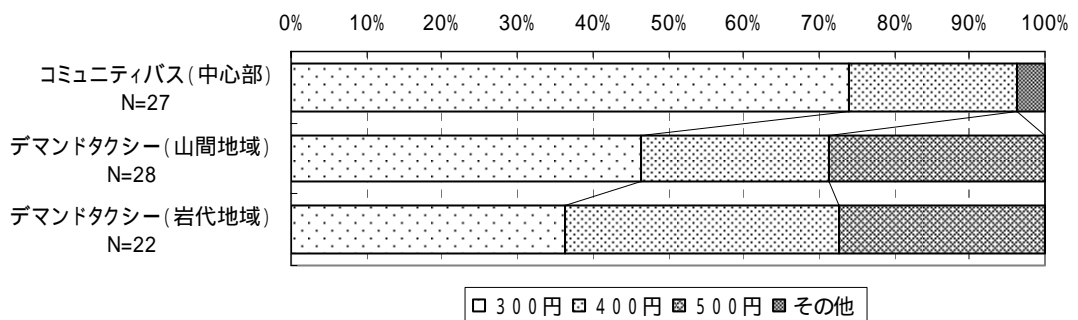


( 岩代地区 )

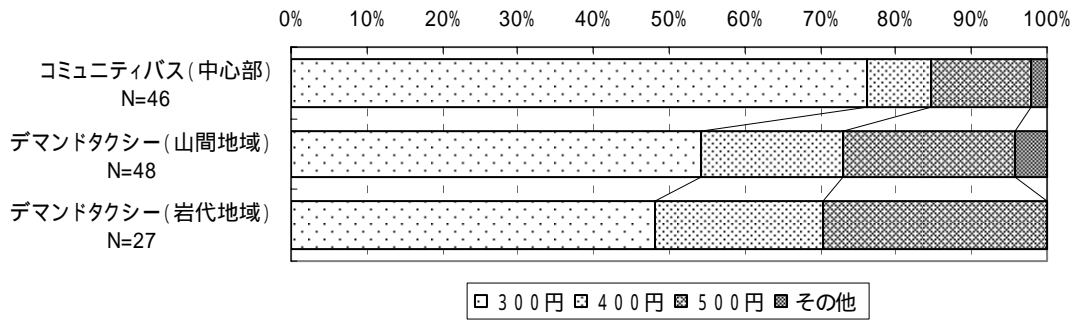


( 家族構成別 )

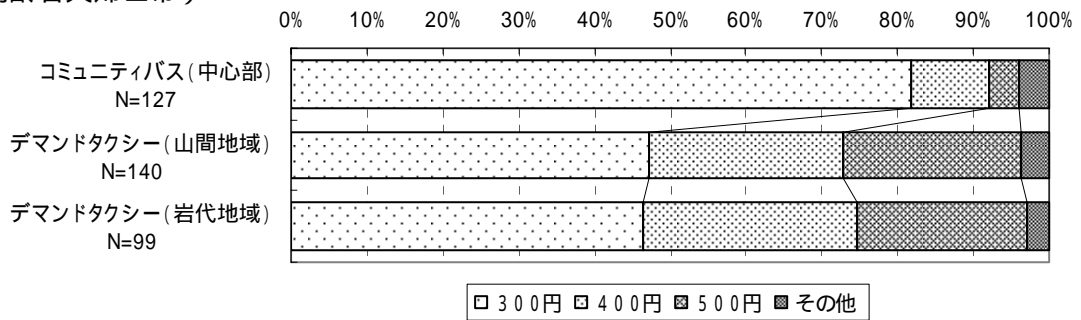
( 64 歳以下の一人暮らし )



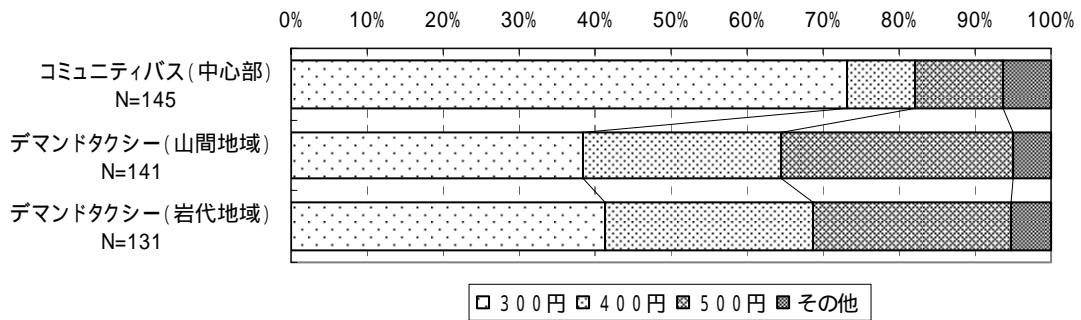
( 65 歳以上の一人暮らし )



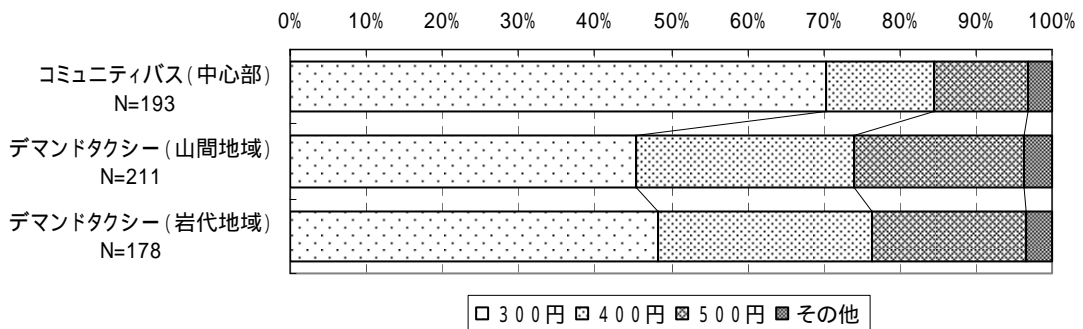
( 高齢者夫婦世帯 )



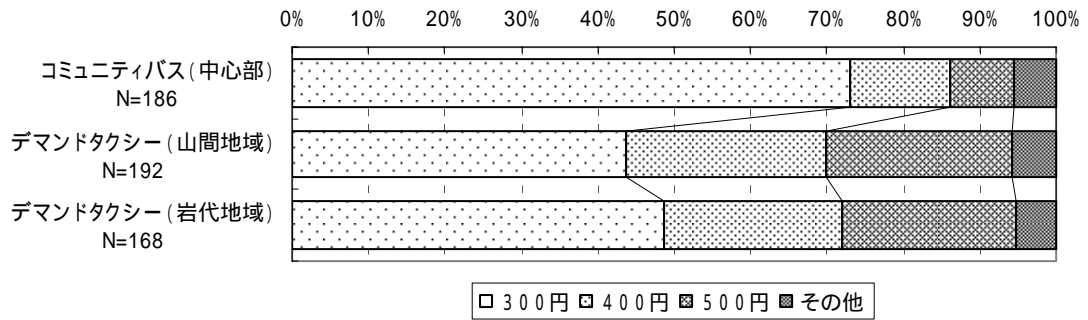
( 若年の夫婦世帯 )



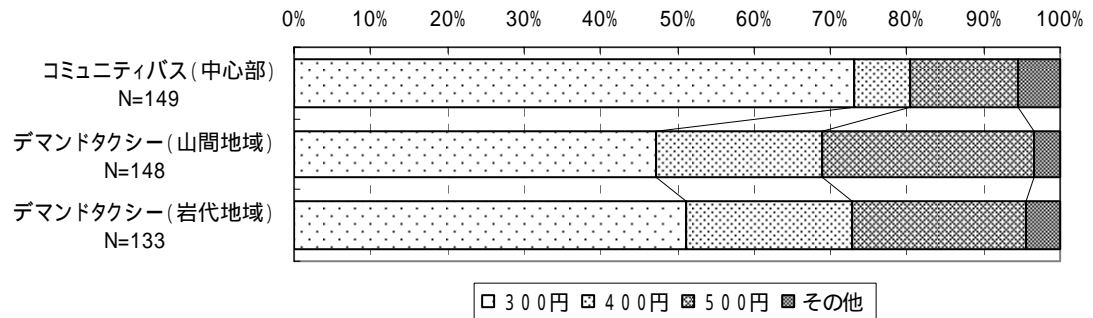
( 二世家で 17 歳以下の子供がいる )



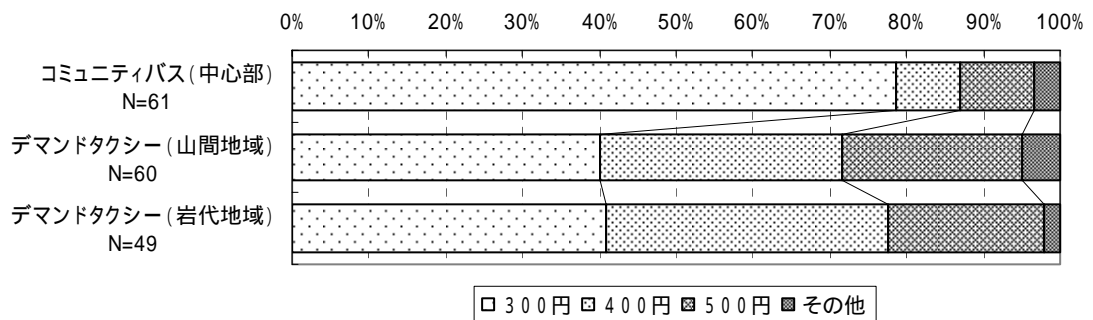
(二世世代で家族全員が18歳以上)



(三世世代世帯)



(その他)



## 4. 主な自由意見

### (1) 運行に賛成・継続希望

#### 現在利用していて、継続・本格運行を希望

大変よいと思います。また利用することと思いますので、続けてほしいと思います。これからも利用する機会が増えてくると思うので、町に大きな負担がかからない程度に整備して行ってほしい。

いつも親切にして頂きありがたいです。どうかいつまでも続くことを願います。朝早くからご苦労さまです。また、主人は車を運転できるのですが、けがをして以来、デマンドタクシーに御世話になっています。人との出会いにも大変喜んでいきます。

#### 自分は利用していないが、運行に賛成・継続希望

山間地域の住民として引き続き実施をお願いします。一度中止すると再度実施するには大変だと思えます。利用されている皆様は喜んでいらっしゃるそうです、よろしくをお願いします。

我が家は、まだコミュニティバスを利用してませんが、利用している人や家族の人たちの話では、皆とても喜んでいきます。財政の許す限り続けてくれたらと思えます。

バスやタクシーを利用する人たちの事を理解してあげてほしい。この運行がなくなれば困る人たちが少なくないかもしれない。一旦始めたことを、一年の様子見だけで判断せず、税金がかかっても続けてあげるべきだ。

#### 現在未利用だが将来的には利用の予定なので、運行継続希望

現在車を運転できるので利用していないが、将来必ず利用さしてもらおう（家族共に）と思えますので、何とか山間部の足として、定着させて頂きたいと思っております。

今は私も自分で運転できますが、いずれ年を重ねていって車に乗れなくなった時に、家に若い人がいなければとても助かると思えます。老後の為にもぜひ運行してほしいと思えます。

バス運行は、これからの高齢化社会にとって、とても大切なことだと思えます。いずれ私も車に乗れなくなった時はお世話になると思えます。いろいろと課題も多くありますが、1つ1つの問題を解決しながら運行を続けて頂くよう、お願いしたく思えます。

#### 多少の値上げをしてでも運行継続希望

料金が安いし、とてもいいと思う。お年寄りや車を運転できない人が、バスなどを利用したくても本数が少なかったりするし、停留所も少ないので、デマンドタクシーやコミ

ユニティバスは料金が少しくらい上がっても、運行を続けてほしいと思う。

家族の中で週 3 回、紀南病院へ通院している者がいます。片道 1 時間近くかかります。農業のため家族の負担が大きい(仕事にさしつかえる)。このような場合、少し料金が高くなっても利用できる方法があればうれしいです。

## (2) 運行に反対または消極的で、廃止が妥当

合併時の提案としては良かったが、利用者が少ない場合は廃止となってもやむを得ないと思われる。

乗車率が低すぎる。廃止の方向で検討すべき。(実質乗車人数はさらに低く、リピーターが多く、特定の感が考えられる)

生活保護や介護保険等、社会福祉の方も大分充実してきているので、これ以上財政赤字を増やさない様にしてもらいたい。

利用者が増えない中で、運行を続行することは論外である。まして、町民が汗と血のにじんで納めた税金を使用するのは、現在の財政難を広げることでもあり、新町にふさわしくなく、賛成できない。

旧南部川村の人が利用するための運行のように思われる。それはそれで良いが、旧南部川村の人は、同じ目的で利用する人は少ないと思うので、町外への利用もできるようにしたらどうか。できなければ、税金の無駄使いになるのでやめたほうが良い。税収は増えていと思うので、一部の人がだけ優遇するようなことはやめてほしい。

## (3) 運行方法・内容の改善

### 運行時間・便数・区域等の改善

朝は早くからいらぬから、夕方少し遅めがあればいい。定刻に走ってあれば乗りやすいけど、わざわざ迎えに来てもらうのは気の毒に思っ呼びにくい。

第 1 期試行運行時は、子供と父がコミュニティバスを利用し、安い料金で利用しやすく助かりました。第 2 期運行は、予約も必要でバスも小さくなり、利用しにくくなりました。だから利用していません。できれば、バスが小さくても第 1 期運行の方法でして頂けたら、と思います。

田辺などにもコミュニティバス・デマンドタクシーで行けたら、もっと人が乗るのが増えるのではないのでしょうか？

病院前等やスーパーや商店の前等に停留所があれば、とても親切に思えます。(老人世帯にとっては)

もう少し、地区の区長さんとかに、その地区地区にコミュニティバス・デマンドタクシーの必要、もしくはお年寄りの人たちにアンケートとか聞いて、要望があれば毎日（たくさん回数はいらなと思いますが）2回ほど利用できるようにしてほしい。\*明光・龍神とかのバスの時間外で、特に皆がいい時間体を（もちろんアンケートで聞いて）運行すれば良いと思う。

### スクールバスとしての利用

南高校生など乗れるように月水金でも朝早く、少なくとも7:30ころ清川を出るようにタクシーもしてあげてください。今では老人ばかりで不公平だと思う。少子化の時代、子供も利用できるようにしてほしいです。

老人のためだけに使われているような気がするので、子供にももっと乗れるような感じにしてほしい。最近怖い犯罪が多発しているので、スクールバスの様な使い道もあると思います。農繁期は特に子供に目が行き届かなくなるので、特にお願いしたいと思います。

スクールバスとしての使用なども考えてほしい。料金をあげるのではなく、もっと利用者が増える方法を考える事が、現在の料金、それより安くできる事が可能になるのでは。そういった中で、少し学校まで遠い（低学年児が歩くのにはしんどい）場合に使用したい。子供の経験にもなるので、そちらの方も考えて下さい。

### デマンドタクシーの予約方法の改善

デマンドタクシー利用者なのですが、急に利用したいこともあるので、予約なしでも行けるようであればもっと助かります。

予約となると、あつバスを、あつタクシーを、と思っても間に合わないの、回数は少なくとも定時の方が利用者はいいのではないかと思います。

この先、高齢者が多くなるので、予約等電話を使用できないと思う。一定のバス停でバスを待つという方がいいのではないかと思います。

### 堺地区への運行

中心部や岩代、山間部に走っているのに、なぜ堺地区は走らないのですか？

私達の所堺地区は、大変便利が悪い所です。手紙をだしにも、薬を買いに行くときも、路面バスを使わなくてはなりません。昼間行きたくても、何本も（1時間にとはいいませんが）通ってないし、少し重い物をついでに買って、バスが無いために結局タクシーになってしまいます。明光バスにでも乗ってしまうと、役場まで行けず、なにしろ堺地区は生活がしにくいです。

堺までコミュニティバス・デマンドタクシーが通っていないので、バス停を作って下さい。朝早くと夕方遅くにあればいいと思います。町中には不要だと思います。絶対堺に通るようにお願いします。町中をバスが走っていても意味がないですよ。

#### (4) コミュニティバス・デマンドタクシー運行を別の手段への変更

現在のみなべ町の状況は、各家庭には自家用車があるように思います。高齢者の方々に足の便がタクシー等に依存せざるを得ない人の為には、何かタクシーの割引券等の発行など、別の対策を考えていただきたい。

ほとんど利用がない状態のように思われるのに、引き続き運行するのは無駄ではないか。タクシー割引券などを発行する方が経費の点、利用者の利便性にも良いのではないか。岩代地区については利用者が少なく、だんとつに町民一人当たりの負担額が高い。本格運行には問題がある。利用者の実態を把握し、金のかからない方法でご検討願いたい。例えば福祉バスの特別増便とか。

デマンドとは別の料金で、10人乗りのワゴンも2~3時間貸切で使用できるなど、グループの楽しみ(温泉・買い物)ツアーのような使い方はできないでしょうか?(町内限定)(どこでも可能)

目的地へ行くことだけではなく、バスの中でも娯楽などを考えれば、ひとつの憩いの場所となる考え方もできるのでは。

#### (5) 運賃の設定

##### 運賃の値上げには反対

何をしても町の税金や国保、介護保険とか税率の高くなる。各人の負担が大きくなることは、少しでもやめてほしいです。

コミュニティバスに乗っている人を余り見たことがない。利用した人が増えたとは聞いたが、有効に使われているのか。また料金を上げて利用者が減ったりするのでは意味がない。利用者や町民の人がもっと喜べる様にしてほしいと思います。

料金値上げは、年金生活にはつらいです。もっと考えて下さい。

##### 現状の運賃では安すぎる

料金を上げて乗る人が少なくなったら中止したらいい。余り安くして税金を投入するのはやめてほしい。

現在の成人は、各人が運転免許を持って自家用車に乗るのが社会の基本です。高齢者（運転できない）または、障害者や子供達の運転できない人達に、弱者救済との考えで実施が必要であれば、個人で自動車を保有するのに必要な金額くらいは負担はいると思います。現在一般成人にとって、交通手段の確保は自己責任と思います。あまりにも代金が安すぎる。ずっと続けることができればいいが、結局（老人医療と同じで）若い人に負担がかかり、最後には自分達（若い世代）の人が利用する時には運行していないと思う。先（せめて少なくとも 10 年後迄位）の見通しをすべき（目先の事ばかり考えないで）、利用している人達は余りお金に困っていない人が多いように思われる。

### 運賃の設定方法について

一定の年齢以上は無料化も考えてはいいと思う。  
料金の金額は、乗車する人が決められる事でないと思います。  
一律に 200 円とするのではなく、地域的に配慮（ガソリン使用量などを勘案）し、料金について、地域の方々と相談して理解を求めること。

## （6）住民への情報提供

広報が足りない。月に 1 回でも時間表なり、乗客の声、車内のにぎやかな写真を載せたチラシが配布されると利用者も増えるのではないか。小中学生の利用を促進するためにも、時間表を学校で配布する。

高齢者の住居分布図を作り、停留所・時間帯などを考えてほしい。

高齢者にわかるようなパンフレットを作成して、各戸に配布してほしい。特にマイカーを持っている人は、存在すら知らないので、高齢者に説明したくとも出来ないので、パンフレットを作成すべき。

利用する人以外の家族の人達にももっとわかりやすくアンケートやチラシ等でもらうべきだと思う。（特に若い世代の人達はコミュニティバス・デマンドタクシーの存在を知らない人がほとんどです）幅広い年齢層に利用してもらうことがよいのではないのでしょうか？

## (7) コミュニティバス・デマンドタクシーの印象

電車へのアクセスや田辺方面へのアクセスができていない。通勤・通学に必要な時間に全く運行されていない。当初の期待とは大幅に違った。

過日、利用したが運転手さんが大変親切で、うれしかった。もう一度乗りたいと思った。

車体の色柄をもっと目立つようにしてほしい。大きさが普通のワゴン車と同じなので、ステッカーほどの模様だとわかりにくい。お年寄りでも一目でわかるようにしてほしい。

コミュニティバス、デマンドタクシー 日本語による名前がないのですか、わかりません。